

# すずしろ

No.81  
2026

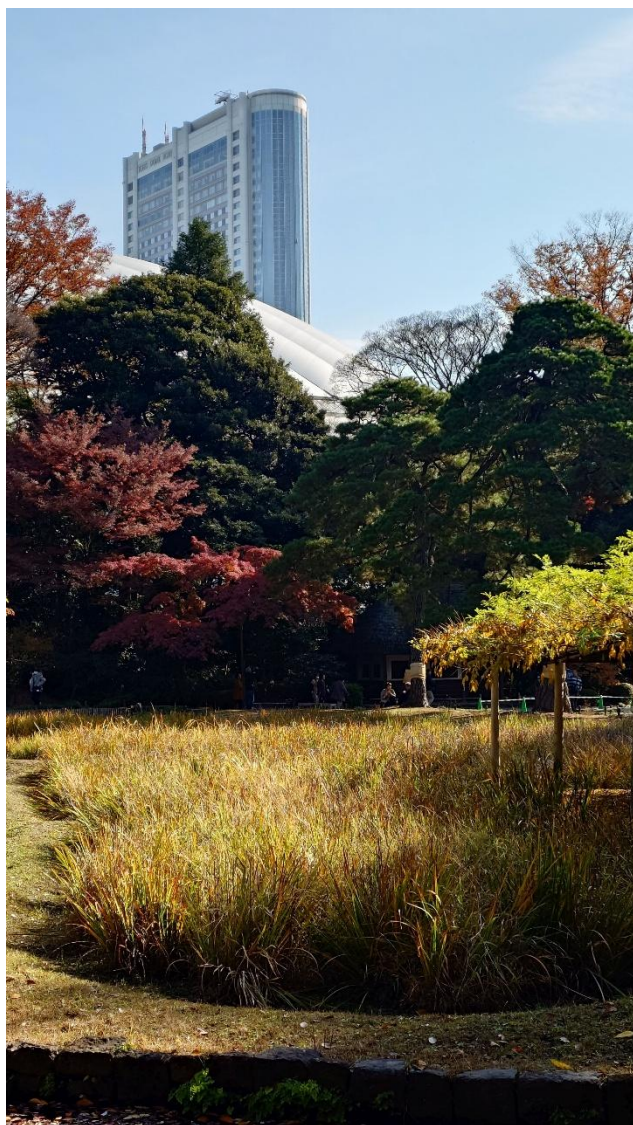


公益社団法人  
練馬区歯科医師会会誌





6月の後楽園



11月の後楽園

「小石川後楽園」

浅見 律 撮影



「Demio 流し撮り」

蓮池 敏明 撮影



「The North Shore」

蓮池 敏明 撮影

口腔がん かかりつけ歯科医院での早期発見を  
2025年4月29日（金）



東京女子医科大学  
岡本 俊宏 先生

練馬区長へ要望書提出  
2025年8月29日（金）



医療従事者協議会  
2025年7月24日（木）



警察歯科医会 勉強会

インターポールDVIに学ぶ・身元判定実習  
2025年10月23日（木）



日本大学歯学部大学  
網干博文先生

治療管理連携型歯科医療

～21世紀型歯科診療所へのトランスフォーメーション～  
2025年11月4日（火）



医療法人社団 ビクトリア会 理事長 小野 清一郎 先生

令和7年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール  
特賞作品



特賞（小学校低学年の部）  
光が丘春の風小学校3年 高野 咲々さん



特賞（特別支援学級の部）  
匿名希望



特賞（小学校高学年の部）  
関町小学校5年 塚田 怜架さん



特賞（中学校の部）  
大泉西中学校3年 中村 凪さん

# 令和8年 新年祝賀会

2026年1月10日（土） ホテルカデンツァ東京



浅田会長挨拶



練馬区長 前川 耀男 様



会員スナップ



目次

巻頭言一会長 .....	9
会務報告 .....	10
連盟だより .....	37
練学歯だより .....	38
同窓会のページ .....	40
学会報告 .....	46
つつじ協力医・衛生士 .....	57
新星のページ .....	59
ブロックだより .....	62
アゼリアの会 .....	70
同好会だより .....	71
自由投稿 .....	81
弔辞 .....	85
逝去会員 .....	89

すずしろPDF版



表紙・カット／川村 省吾



## 会の事業への参画を



会長 浅田 博之

再度、令和7年総会において会長に選任いただきました。2年間宜しくお願い致します。さて、令和7年より福祉共済制度が見直され、会員死亡時における5,000円の徴収を廃止し、死亡時500,000円の一律給付と致しました。10年毎に見直しが行われますので宜しくお願い申し上げます。また、公益法人制度の改定により、外部理事・外部監事を選任する事になりました。外部理事には、元会員の古田裕司先生、外部監事には、同じく元会員の日比輝彦先生に快諾を得てお願いすることになりました。お引き受け頂いた両先生には誠に感謝申し上げます。

さて、練馬区には、現在450か所程、歯科診療所があります。会員の診療所は270か所程ですので、丁度6割程になります。区民の口腔環境を守るという点では会員・非会員の差異はありませんが、我々会員は、区役所つつじ歯科診療所における、心身障がい者の診療・摂食嚥下リハビリテーションの診療及びそれに伴う調査、成人歯科健診・妊産婦歯科健診・後期高齢者における長寿健やか健診、介護保険認定審査における委員、更には、各保健相談所における、1歳6ヶ月児・3歳児健診、区立保育園の園医、警察署から依頼された平時における身元のご遺体の歯牙鑑定、災害時におけるご遺体の歯牙鑑定、医療救護所での活動、また、本会の事業ではありませんが、区立小中学校の学校医、都立高校の学校医、等々、会員でしか、実施することができないインセンティブが数多くあります。先生方におかれましてはこれ等の事業にでき得る限り、参画・実施して頂き、歯科医師会に入会していることのメリットとしていただきたいと思っております。

先生方におかれましては、会務にご協力の程お願い致します。

## 会務報告



### 副会長 上原 正美 「たばこ会議」

日頃より、会員の先生方には本会事業に多大なるご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

公衆衛生、地域医療、休日診療、保険、警察、災害医療の担当所管のうち私からは公衆衛生に関連する「たばこ会議」についてご報告させていただきます。

この「たばこ会議」は練馬区医師会主導のもと、練馬区歯科医師会、練馬区薬剤師会、練馬区柔道整復師会（四師会）が連携し、区民の健康保持と快適な生活環境の維持を目的として始められました。

四師会それぞれが喫煙、禁煙にまつわる問題点、対策の情報を共有し令和7年度中5回開催されました。私たちの練馬区歯科医師会も令和7年の5月31日の「世界禁煙デー」を機に練馬区歯科医師会館の敷地内の全てを禁煙とすることを決定し回覧でご案内させていただきました。

「たばこ会議」のこれからの動向として受動喫煙防止および喫煙 マナー向上に関する啓発活動を進めるため練馬区に要望書を提出する予定です。

前回までの「すずしろ」で練馬区行政との実務の一つ『練馬区健康推進協議会』に関してご報告させていただきました。この推進協議会は練馬区の医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会をはじめ区民、学識、福祉、事業者関係団体で構成されており、練馬区における保健衛生及び地域医療の向上を図り、区民の健康の保持や増進を目的として数にして50程の事業があります。

結果はほとんどの事業がA+,A評価でしたが唯一B評価だったのが「禁煙支援の充実」事業でした。B評価の要因の一つとして禁煙支援薬（チャンピックス）の流通停止もあったようです。

今回の「たばこ会議」の要望がこの「禁煙支援の充実」事業の一助になり区民の健康の維持増進になれば幸いです。

その他の所管に関しては担当理事からの報告がありますので省略させていただきます。  
今後とも会員の先生方のご指導、ご鞭撻をいただきながら、会務遂行に努めてまいります  
ので宜しくお願い申し上げます。



## 会務のご報告



副会長 池田 頼宣

(医事処理・学術・医療管理・福祉共済・税務)

日頃、本会会務にご協力頂きまして誠にありがとうございます。

私の所管は学術、医療管理、福祉共済、税務、医事処理です。

会務報告についてですが、担当理事がおられる事業につきましては各理事にお任せし、それ以外の事業を報告させていただきます。

まず医事処理です。医事処理は引き続き私が就任当初から毎月1～3件位ありますが、今のところ大きな問題はなく経緯していますが、その内容は多岐にわたります。もちろん治療内容の説明不足が多いですが、最近では口コミサイトへの架空の患者さんを装った投稿があり、実際の患者さんがその歯科医院にクレームを入れる事例もありました。このような事も患者さんはよく見えていますので、引き続きご注意下さい。重要なことはやはり患者さんの症状の状況説明と治療内容についてしっかり説明することです。

福祉共済につきましては、昨年度第2回総会にて会員が亡くなった際の他の会員からの負担金は本年度から廃止され、制度は変更されました。

税務に関しましては特に大きな変化、問題点はございませんでした。

今後とも練馬区歯科医師会が会員の先生方のご理解とご協力によってこれからも運営できますよう、浅田会長執行部へのご理解とご支援をお願いいたします。

## 会務報告



専務理事 松本 幸文  
(つつじ歯科・広報・デジタル)

2025年3月には、私事によりしばらくの間、会務ならびに関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

病気療養のため、一定期間職務を離れることとなりましたが、おかげさまで現在は完全に回復しており、業務にも復帰しております。温かいお言葉やご配慮を賜りました皆さまには、深く感謝申し上げます。

今後はこれまで以上に健康管理に努め、微力ながら地域歯科医療の発展に貢献してまいりたいと存じます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、この1年の会務報告として、最初に上げられるのは外部理事、外部監事に関することです。

近年、法人や各種団体の運営において、ガバナンスの強化と透明性の確保が求められるようになってきました。歯科医療の分野においても例外ではなく、組織の健全な運営と社会的信頼を高めるための取り組みが重要視されています。

その一環として、公益社団法人として外部理事および外部監事の動員が法律上決定されました。

外部理事とは、法人の理事会において、組織外の第三者として参画する理事のことであり、外部監事は、監査機能を担う立場として、法人の業務や会計の適正性をチェックする役割を担います。

これらの外部人材を登用することで、組織内部の視点だけでは見えにくい課題やリスクを客観的に把握し、より健全な運営体制を構築することが可能となります。

しかし、練馬区歯科医師会の特殊性を考えると医療・公益事業・その他の事業に関しての知識も必要となります。

今回は外部理事・外部監事に関してはそのような人材を運よく見つけることができましたが、今後どの様に人材を確保していくのかは重要な課題となります。

続いては会館の改修工事を段階的に進めていることです。

築年数の経過に伴い、設備面に課題が見られていたことから、照明のLED化、老朽化した空調設備の更新を段階的に工事を実施しています。

工事期間中は、一部施設の利用制限などでご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に練馬つつじ歯科診療所の、ホームページを全面改定いたしましたので、ご報告いたします。

以前よりホームページに関しては存在していましたが、情報の通知など古くからのものが改修されていないことを考え、2025年度に全面改修を決意し、2025.10.27に新ホームページが公開になりました。今後は必要な情報を発信していくことができるかと思いますので、何か気になる点がありましたらご連絡いただくと助かります。

新しいホームページでは、診療内容や診療時間の明確化はもちろんのこと、院内の雰囲気や写真や、診療に関する情報も載せました。また、スマートフォンからの閲覧にも対応し、どなたでも快適にご利用いただけるよう工夫しております。

最後になりますが、練馬区歯科医師会の皆さまには、日頃より多くのご指導とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 会務報告



総務理事 黒田 耕太郎  
(福祉共済・警察・災害医療)

会員の先生方におかれましては日頃より本会事業にご支援とご協力いただきまして誠にありがとうございます。

一昨年に史上初の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、昨年末には北海道・三陸沖に初の「後発地震注意情報」が発表されましたが、幸いにも期間中に巨大地震は起きませんでした。また、昨年9月には「今後30年以内に発生する確率が80%程度」としていた南海トラフ地震の発生確率を見直し、「60～90%程度以上」または「20～50%」と発表されました。このいつ来るか、来ないかもしれない巨大地震に我々は常に備えなければいけません。

そんな中、昨年度も大泉西中学校と貫井中学校の医療救護班の先生方には救護所訓練に参加していただきました。また、救護所の備蓄品にスーパーボンドを追加してもらいました。歯の脱臼など外傷の処置に活用できます。

また、練馬区歯科医師会では災害医療研修会を開催し練馬区役所の方々にも参加していただきました。元東京都歯科医会理事の寺田先生に能登半島地震の時にJDAT（日本災害歯科支援チーム）として避難所を回り口腔衛生活動を行ってきたお話をしていただきました。JDATは災害発生72時間以降の避難所等における口腔衛生活動を支援する組織で今年度より全ての都道府県で編成することになり、今年の初めに行われたJDAT研修会に練馬区からは私が参加してきました。来年度は浅田会長が参加する予定であります。

警察歯科研修会では会員の先生方と共に警察署の方々にも参加していただきました。日本大学歯学部 網干教授に講演していただき、歯科身元確認の実習も行いました。昨年、宇多田ヒカルと米津玄師のデュエットでヒットした「JANE DOE」という曲があります。

JANE DOEとは 身元不明の女性のご遺体と言う意味で、この曲を聞くと愛する人や家族にご遺体を送り届ける身元確認作業の意義を感じることができます。

今年の講演会で、横浜の開業医の先生による「21世紀型歯科診療所へのトランスフォーメーション」という講演会が印象に残りました。その先生の診療所では歯周病と口腔機能不全の検査、管理指導が中心で院長は治療をほとんどしないということでした。練馬区歯科医師会の会員も、働いて働いて働いて働いて働いていかななくても経営が成り立つ歯科医院を目指していければ良いと思います。口腔機能不全に関しては練馬区にはつつじの摂食嚥下機能リハビリテーションがあります。患者をつつじで内視鏡や造影検査など高度な検査をして診断をつけた後は、会員の診療所で毎月、歯周病と口腔機能不全の検査管理指導で点数を取っていけるように、つつじ歯科診療所を利用出来るようにしていければいいと思っています。

今後とも本会の事業・運営にご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

## 現況報告



会計担当理事 田中 大平

### 「会計報告を聞くために」

新年が明け早1か月が経とうとしていますが、会員の先生方にはますますご健勝のことと存じます。ただいま、浅田会長をはじめ、松本専務、山川事務局長にお世話になりながら、3月の総会に向け令和8年度の予算書を作成しているところです。

今度の3月の総会にはより多くの会員の先生方に参加されることを個人的には希望しておりますが、やはり総会に出席されることは会員の先生方には億劫に感じる事と思います。それは、総会の内容が把握しづらく、特に30ページ以上の総会資料の収支を読んでいる会計報告が退屈で理解できないものだからだと思います。今度の総会の会計報告が、理事経験者以外でも理解できるようにするために下記に簡単な説明をしたいと思います。

ただし、小生も会計が生業でない為、多少の誤りがあると思いますが、ご勘弁ください。まずは、例年の総会資料の中ほどからでてくる収支予算書、計算書の話ですが、小生が第1カとか第2コウとか第3モクとかを総会の会計報告で再三申し上げていますが、これらは款、項目です。「款」が大項目で「目」が小項目です（図1、図2）。〇〇〇万ヨ円も再三出てきますが、ヨ円は「余円」であって4円ではありません。これは千円以下の桁を切り捨てて（四捨五入ではない）〇〇〇万余円と読み上げています（図3）

「按分」という単語も沢山でてきますが、他には会計用語として「折半」、「配分」「配賦」というものもあります（図4）。「按分」は事業費と管理費の比率のときによく使用される単語です。公益社団法人ではこの比率が重要なものとなってくることがあります（図5）。支出である経常費用は大きく分けて「事業費」と「管理費」に分類されます（図6）。事業費はさらに「公益目的事業費」、「収益目的事業費」に分類されます。

これらは、会計を仕事としている方からすれば専門用語というレベルではないかもしれませんが、ある程度用語を覚えないと会計報告を聞いていても全く理解できないことになると思います。

小生も表面上の額面しか分かりませんが、少しでも多くの会員の先生方に総会に出席して会計報告を理解して頂いて、更には理事経験者でない先生方から活発な意見を聞けたらと思っております。

この原稿が会計報告を聞くときの一助となれば幸いです。

### 予算書・計算書の科目の分類

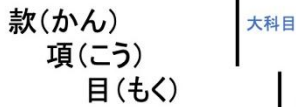


図1

### 予算書・計算書の科目の分類

款(かん)	項(こう)	目(もく)	勘定科目	06年度予算額	06
			1 事業活動収支の部		
			事業活動収入	24,580,922	
			① 会費収入	16,020,000	
			② 会費収入	15,400,000	
			③ 一様会員会費収入	70,000	
			2. 二様会員会費収入	480,000	
			3. 高齢者会員会費収入	70,000	
			4. 特別会員会費収入	70,000	
			2. 特別会費収入	8,560,922	
			1. 受託事業負担金収入	8,560,922	
			④ 入会料収入		

図2

### 例) 会費収入の読み上げ

取  
令和6年4月

2,458万余円  
千円以下の端数を切り捨て

勘定科目	06年度予算額	06
1 事業活動収支の部		
事業活動収入		
① 会費収入	24,580,922	
② 会費収入	16,020,000	
1. 一様会員会費収入	15,400,000	
2. 二様会員会費収入	70,000	
3. 高齢者会員会費収入	480,000	
4. 特別会員会費収入	70,000	
2. 特別会費収入	8,560,922	
1. 受託事業負担金収入	8,560,922	

図3

・按分 基準値をもとに金銭を分けること

・折半 半分に分けること

・配分 金銭を均等に分けること

・配賦 「割り当てる」という意味。基準値をもとに分けること。部品や製品の費用の基準に従って割り当てること。

図4

### 事業費 管理費

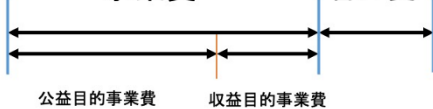


図5

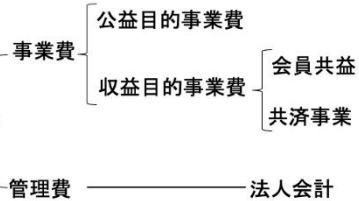


図6

## 学術委員会会務報告



学術担当理事 坂本 一郎

### 【学術集会等参加助成金】

2023年6月より浅田博之会長執行部の学術担当理事を拝命してから2年半が経過いたしました。この間の大きな事業としては学術集会等参加助成金の再開があります。2024年1月の日本歯科医師会雑誌の巻頭では、高橋英登会長が「今年の抱負 そうだ！学会に出よう！」というメッセージを寄稿しています。「日本歯科医師会は、歯科医療界における『学術団体』であることから、日々の診療においても自ら研鑽、患者に高品質な治療を施すためにも学会活動は必須であります。」と述べています。本会では、日本歯科医学会の専門分科会と認定分科会の学会に参加した際に助成金を支給することといたしました（詳細は**学術集会等参加助成金の取り決め**をご覧ください）。本年度は27名の助成金申請がありました。新たな申請者が7名増えましたが、助成金事業がまだ十分に認知されていないと思われましたので、昨年度と同様の文章と取り決めを載せさせていただきます。是非とも学会に参加しましょう！

### 【学術講演会】

2024年度第2回学術講演会を、2025年3月12日（水）20時よりハイブリッド開催いたしました。坪田デンタルクリニック院長・鶴見大学臨床教授の坪田有史先生に、「歯科接着の勘所」という演題でご講演いただきました。坪田先生は、日本接着歯学会前理事長、東京都歯科保険医協会現会長でもあることから、坪田先生の日頃の接着臨床から、保険診療の注意点まで詳細な解説がありました。参加者は64名でした。

2025年度第1回学術講演会は、2025年10月30日（木）20時よりZoom開催いたしました。福岡市開業の辻本真規先生（辻本デンタルオフィス院長）に「オーバーレイ修復超入門」という演題でご講演いただきました。接着技術の向上によって、レジン充填、インレー、アンレー、フルクラウンに加えて、新しい歯冠修復治療の選択肢を学ぶことができました。参加者は47名でした。

2025年度第2回学術講演会は、近年、CAD/CAM冠、口腔内スキャナー、3次元プリント有床義歯など、デジタルデンティストリーの保険導入が進んでいることに鑑みて、歯科医療DXに関するご講演を2026年3月頃に開催する予定です。

**【購入図書】**

会館1階談話室（図書室）の雑誌コーナーでは、ザ・クインテッセンス、デンタルダイヤモンド、歯界展望、日本歯科評論、アポロニア21を定期購読しています。是非とも会館にお越しいただき、気軽に立ち寄りご覧いただければ幸いです。

学術委員会では、会員のみなさまに日進月歩の歯科医学に関する幅広い知識と情報を提供し、会員のみなさまが興味を持ってご参加いただけるような講演会・研修会を企画していきたいと考えておりますので、お力添えのほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

**【学術事業 学術集会等参加助成金の取り決め 2024年1月12日理事会承認】**

1. 本会は会員の研鑽及び本会の事業推進のため、同目的に対し有益な学術集会等に参加した会員に対し学術事業費から学術集会等参加助成金（以下助成金と略）を支給する。
2. 助成対象は日本歯科医学会専門分科会または認定分科会の学術集会等とし、本事業以外から類似する助成金等が給付されないものとする。
3. 助成金は会員本人が参加した学術集会等で参加費が1人1回五千円以上のものを対象とし、五千円を限度として支給する。参加費が1人1回五千円未満の学術集会等には支給しない。
4. 参加登録・交通・宿泊等の手配は原則として参加会員本人が行う。
5. 支給は、会員本人に対し一年度に1回を原則とする。
6. 助成金を受給する場合は、11月末日までに参加証・領収書の写し等を事務局に提出する。これをもとに当該年度末に支給する。
7. 12月以降開催される学術集会等に参加予定の場合は、11月末日までに参加予定 集会名・開催日・開催場所・参加費等の明示された資料を事務局に提出する。参加後には同様に参加証・領収書の写し等を事務局に提出する。
8. 助成金申込者が多数となり事業予算を超えた場合、助成金を減額する場合がある。
9. 本会は、助成受給者に対し参加報告書の提出を求めることが出来る。
10. 上記の規定にない事項については、理事会で協議する。

## 公衆衛生事業 会務報告



### 公衆衛生担当理事 竹之内 大助

会員の先生方や事務局のご協力により、公衆衛生事業を進めることができ、感謝申し上げます。

公衆衛生士担当理事に就任してから2年半程が経過し、少し理事としての仕事が理解できるようになってきましたが、同時に課題も見えてきました。微力ではありますが、私を感じたことを理事会でも発言して、これからのに向けて考えていきたいと思います。次年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

#### 会務報告

##### ○練馬区への公衆衛生関連の要望書提出

- ①長寿すこやか歯科健診の対象年齢の拡大について
- ②成人歯科健診自己負担金無料化について

予算がかかるものはなかなか要望が通りませんが、今後も練馬区民の健康増進のために歯科医師会として協力できることを考え、区へ要望していきたいと思ひます。

##### ○歯の衛生週間行事の実施

- ①歯—トファミリーコンクール（令和7年5月14日）

入賞者選出の口腔内診査実施および表彰動画（Youtube）へのコメント入力

- ②歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（令和7年9月9日・11日）

入賞者選出および表彰動画（Youtube）へのコメント入力

- すこやか健口教室への協力（令和7年3月14日、10月1日）

公衆衛生委員2名を派遣し、歯科相談および講話の実施を行いました。

##### ○保育園囑託医の選任および業務管理

##### ○練馬区要保護児童対策地域協議会の参加

○幼児歯科健診の担当割り振りおよび業務管理

○練馬区歯科医師会・練馬区健康部連絡協議会の開催（令和7年1月23日）

練馬区と歯科保健事業全般についての意見交換を行いました。

○成人歯科健診・妊産婦歯科健診・長寿すこやか歯科健診の充実

令和8年4月から使用予定の歯科健診受診票兼実施報告書の改訂および健診マニュアルの改訂を行いました。

多くの会務に協力していただいた公衆衛生委員の先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 医療管理委員会会務報告



医療管理理事 押尾 武

日頃より、医療管理委員会の活動に御協力いただき、感謝申し上げます。今年は、2月の練馬区医師会の御協力による健診に始まり、天候が比較的安定している6月に、サマーフェスタを計画しています。会員の診療所の従業員にも参加していただきますと、医院の福利厚生費となり、会費をなるべく安く、たくさんの豪華な景品も用意しますので是非、参加して下さい。

前回、ラシーヌで行われた会では100名を超え大盛況でした。7月には救急医療研修会が行われます。毎回参加して色々な専門家の講義を聴くことで、いざというとき必ず役に立ちます。秋頃には、税務講習会を予定しており、医院継承、又は医院を閉める時に役立つ話しを入れてもらうように、お願いしてあります。

ちなみに、昨年の秋は、初めての試みとして、東京都社会福祉労務士会の講演を行いました。就業規則作製のポイントや、実際のトラブルの話しなど、大変有益な会となり、終了後に、労務士の先生に相談する方も複数おられました。又、開催する予定でありますので是非参加して下さい。

最後に、昨年11月に、区役所主導で、練馬区新型インフルエンザ等対策有識者会議が発足致しました。これには医師会、歯科医師会、薬剤師会、区内の大病院の他、商工会、弁護士、警察、消防署、保健所が一同に会し、具体的には、鳥インフルエンザのパンデミックを想定しての会議です。

現在、鳥インフルエンザが他の動物にも広がり始めており、いつ、人にも感染できるよう変異してもおかしくないと思われれます。なにか重要な情報があれば、皆様に流しますのでよろしく願いいたします。

## 理事就任3年目を振り返り



保険担当理事 安藤 浩徳

歯科診療報酬請求はレセプトのオンライン請求、健康保険証の廃止、マイナンバーカードを使用するオンライン資格確認等困難化混迷化を極めております。歯科の保険点数は改定の度に厳しくなり、相変わらず行政側の指導も厳しく、医院の経営にも多大な影響を与えておりますので、会員の皆様へなるべく分かり易くお役に立つような情報を提供していければ幸いです。

令和7年度も相変わらず同一地区に対する集中的な行政指導が行われており、指導内容も困難複雑化を極め、指導結果もより一層シビアになっております。

レセプト請求の正確性は勿論、レセプト請求に符合した正確な一部負担金徴収、日々の正確なカルテ記載、カルテ整備が非常に大切であり、技工関係書類や衛生士業務簿記載含めて各種事務的資料の保管等非常に大切です。

また毎回発行の領収書や明細書と保険者による医療費通知との一致も大切で、患者対応も含めて総じて誠実な対応が医療機関側に求められております。

なお、令和8年4月には保険点数改定が予定されており、分かりやすい講習会の開催、保険関係の回覧数増加や購入書籍も増やしていきます。

令和6年度に関東信越厚生局東京事務所の笹井義宣医療指導官をお呼びして、講習会を開催致しました。大変好評であり、今後も同様の講習会開催を企画してまいります。

保険に関すること、レセプト請求、指導関係等お困りお悩みの時は事務局又は保険部・医療保険担当理事までご相談くださいませ。

令和7年度の会務報告を簡単に挙げます。

1. 地区担当理事協議会への出席
2. 整備会、訂正整備、保険相談、レセプト請求の相談

3. 保険講習会の開催
4. 新入会員保険指導・相談
5. 新規指定医療機関の新規指導、個別指導への対応、立会い
6. 練馬区国民健康保険運営協議会への参加
7. つつじ歯科診療所、練馬区休日急患診療所のレセプト点検も整備会とは別日で月2日以上行っております
8. その他  
関東信越厚生局東京事務所が実施している集団指導への立会い  
保険関係の書籍の充実等  
指導後の注意喚起

令和7年4月以降練馬区歯科医師会では医療保険所管上原正美副会長を筆頭に医療保険担当理事、医療保険委員会も含めた保険部として対応をしております。

令和8年度も保険部として対応をいたしますのでよろしくお願いいたします。

なお、医療保険担当理事は現在1名の為、十分にカバーできない点多々あると思われませんが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。



## 会務報告



### 地域医療・つつじ歯科診療所担当理事 梅津 雅人

会員の先生方には日頃より障害者歯科・摂食嚥下リハビリテーションおよび休日急患診療事業へのご協力感謝いたします。

さてここでは令和7年のつつじ歯科診療所の運営につきご報告いたします（令和7年12月時点）。

#### 1,インシデント報告書の改定について

つつじ歯科診療所ではヒヤリハット事例および重大な事故につながりかねない事例につきインシデント報告書を作成しています。

これを月ごとにまとめ翌月の理事会と同時開催されるつつじ歯科診療所役員会において協議を行っています。

しかしここ2年ほどで受傷事故が2件ほど発生しており従来の報告書では対応が不足しているとの意見があり、7月に行われるつつじ歯科診療所従事者協議会において指導医や現場スタッフの意見も踏まえ一部改定をすることになりました。

今まで報告書の記載は現場の衛生士もしくは受付事務員が行いノーチェックでつつじ歯科診療所役員会に提出されていましたが、定後は当日かかわった指導医が閲覧し必要な場合は修正を行い署名を頂く形式に変更しました。

また受傷事故などの事例については当事者のその後の経過を検査結果なども踏まえ再度報告書を作成するというにしました。

#### 2,自民党区議のつつじ歯科診療所見学について

本会では毎年区に対して要望書を提出していますが、その内容説明を秋口までに区長および区の与党会派に行っております。

今回自民党区議団への説明を行った際につつじ歯科診療所の見学をしたいとの話が出ましたので、令和7年10月に自民党区議8名を対象につつじ歯科診療所の施設を案内するとともに運営の状況の説明も行いました。

### 3、障害者歯科学会でのポスター発表

学会発表の内容はつつじ歯科診療所の障害者歯科・摂食嚥下リハビリテーションの協力医への意識調査に関するアンケートを行いその結果をまとめたもので、地域医療委員の大塩かおり先生が中心となり令和7年11月1日に障害者歯科学会でポスター発表を行いました。

このポスターについては学会発表後つつじ歯科診療所の控室に掲示しつつじスタッフおよび協力医の先生方にご覧いただけるようにしました。

### 4、令和7年要望書への回答について

令和7年の要望書の地域医療関連の項目では、つつじ歯科診療所の障害者対応ユニットの更新および常勤衛生士2人体制への予算配分を挙げていましたが、令和7年12月下旬に区からの回答として障害者対応ユニットの更新は実現する運びとなりました。

2つ目の常勤衛生士2人体制への予算配分については継続案件ということになりました。また要望書には載せていませんでしたが、デンタルX線照射機の更新についての予算配分もされる旨の回答をいただきました。

### 5、口腔機能低下症および口腔機能発達不全症の管理ソフト導入について

つつじ歯科診療所では令和7年当初より口腔機能低下症についての検査機器を取り揃え口腔機能低下症および口腔機能発達不全症に関する施設基準の獲得に向けての準備を進めてきました。

この度その施設基準を獲得するに至り、より一層症例を増やしていく目的でその管理を効率的に行うことができるソフト（オーラルレオズ）の運用を令和8年1月より開始することになりました。

最後に、つつじ歯科診療所では施設の性格上様々な施設基準を申請しており先生方の個人の医院より多くの加算項目などがありカルテの記載に戸惑うことがあるかもしれませんが、現場の衛生士に聞くなどして不足のないよう記入していただければと思います。

何卒宜しくお願い致します。

## 地域医療委員会会務報告



地域医療・つつじ歯科担当理事 生田 剛史

まず初めに本会の会員の先生方におかれましてはつつじ歯科、休日当番、糖尿病、口腔がん、周術期などの地域医療関連の診療及び健診事業にご協力いただきまして心よりお礼申し上げます。練馬区の行政や医師会との連携は協力医の先生方のお力あってのものです。今後ともよろしく願いいたします。

2025年度の地域医療関連の事業といたしましては（2025年12月記載）

講演会・協議会

6月26日 メールフォームによる口腔外科疾患の遠隔画像コンサルト説明会 Zoom開催

7月24日 つつじ歯科診療所医療従事者協議会 受傷事故対応フローチャート作成について  
会館及び練馬区役所

10月25日 区民向け公開講座 岡本俊宏先生 練馬ココネリ3F

11月4日 地域医療講演会 小野清一郎先生 会館ハイブリッド開催 口腔機能低下症関連の商品展示

学会発表

11月1日

昨年度行った「つつじ歯科摂食嚥下リハビリテーション外来協議会向けアンケート」の結果を第42回障害者歯科学会にてポスター発表いたしました。（地域医療委員の先生方ありがとうございました）

---

---

会務報告

まだ実施前ではございますが以下を予定しております。

2026年2月12日 糖尿病医療連携ネットワーク講演会

3月14日 4区合同糖尿病区民向け公開講座 歯科ブース設置

3月18日 糖尿病協力医向け医療連携講演会

今期も運営上ご迷惑をお掛けするかもしれませんが何卒よろしくお願い申し上げます。

## 広報・デジタル委員会会務報告



### 広報・デジタル担当理事 蓮池 敏明

従前、学術担当と地域医療担当を拝命しました。現執行部から広報を担当しておりますが、瞬く間に3年が過ぎ4年目が目前となっております。当委員会は練馬区歯科医師会の活動や公益性、有益性を広く区民に周知いたし、本会会員の優れた診療のための広報活動を心がけております。そのための方策としまして、令和7年度は昨年度の方針を踏まえた上で、区役所内ホール2箇所に加えて広い層の区民の目にとまる順天堂練馬病院入口付近（練馬高野台いきいき歩道橋側）に新たにスライドショーを含むデジタル広告を設置いたしました。これにより会員の不断の研鑽と地域医療への真摯な取り組みが周知され、ステークホルダーが歯科医院を選択するときの一助になると考えます。次年度以降も内容や手法を更に充実させていきたいと考えております。

また、広報委員会が従来から製作に携わって参りました本会広報誌”すずしろ”につきましては、全ページカラー化と内容の充実、そのためのAIの利用等を図り作成いたしました。これは広報委員が総力をあげて取り組んだ結果であります。

DXの応用としましては、各委員会等の講習会開催予告を本会HPのトップページに簡便かつスピーディーに広報する必要があります。本年度は解説書を作成し、各委員会委員にご参集いただきHPの操作法説明会を開催いたしました。今後は説明会の回数と内容を充実させ、全委員会参加型のHPを目指したいと考えております。

本会では現在、オンライン会議・オンライン講習会を少なからず行っております。従来からご披露しておりますが、将来的にはこれらのみならずメタバースという空間を利用することで、必ずしも対面でなくても会員相互の親睦や良好な意思疎通を図ることが出来ることが期待されます。これにより日常診療における有益な情報を得られる場が、新たに作られるでしょう。次世代の歯科医師にとっても入会動機の向上とともに活動障壁が下がると考えられ、これも本会の将来にとって有効な手段であると思えます。

振り返って近年、歯科医師会に未入会者が増加してまいりました。理由を聞き取りますと入会のメリットが分からないという回答が多いようです。これに対する方策としまして、本会会員の不断の研鑽を区民に広報し、歯科医院通院に於いて診療レベルが担保された本会会員を選択していただくことと、本会の魅力を未入会歯科医に周知することが重要と考えます。

広報といたしましては、区民の健康に寄与することは勿論のこと、地区歯科医師が入会したいと思えるよう本会の魅力を周知して参りたいと考えております。昨今の歯科界を取り巻く環境は急激に変化しています。これに対し本会もアジャイルに行動することが必須であります。引き続き皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。



## 監事報告



監事 栗田 正明

会員の先生方におかれましては日頃より本会事業等にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。2期目の浅田執行部も約半年が過ぎ、2年半が経過しました。前斉藤執行部の際には会費徴収方法の大改訂（応能会費の廃止等）があり、昨年は福祉共済事業検討委員会の答申結果を受けて福祉共済事業の抜本的な改革案が可決・施行され、これで長年の大きな懸案事項二つが解決しました。しかしながら、最近の理事会に参加していて気にかかることがあります。それは会員数の減少に伴う弊害（例えば、学校医・保育園医に依拠して下さる先生の減少からくる委嘱の困難・重複問題etc）、極々一部の新規会員の質の低下（度重なる保険新規指導、医事処理問題etc）即ち数と質の問題です。いかなる組織においても会員数は力で

す。外に向かったの発言力の源であり、内においては福利厚生・予算等の組織力の源泉です。しかしながら組織内部にトラブルを多数引き起こす会員を抱え込むと組織の対外的なイメージ（ブランド力）の低下と組織の求心力の低下を招くことになり悩ましい問題です。この質の問題に関しては諮問委員会を立ち上げ検討を行う予定です。2024年に厚生労働省がまとめた調査によると全国の歯科医師の数は10万5267人と前回調査（20年末）から2000人強減っています。1954年の統計開始以来初めて減少しました。現在、歯科医師国家試験合格者数は年2000人と横ばいが続き、一方で1970年代に働き始めた世代の多くが70歳以上になり年約3000人が引退しています。新たに歯科医師になる人の数と引退する人の数を差し引きすると年1000人程度減り続けています。一昔前には400人を超えていた練馬区歯科医師会の会員数は今や300人足らず。いかに質を落とさずに非会員を取り込み、会員数・組織率を上げるか。会の存亡を賭けた、もう待たなしの問題です。

チャールズ・ダーウィンの名言に「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化に最もよく適応した者である。」という言葉があります。会務運営はその取り巻く環境の変化（会員数の減少と高齢化、オンライン資格システム・マイナ保険証導入等の環境の変化、行政の指導内容の強化・複雑化、個別指導の増加等）に応じて前執行部あるいは前年度の踏襲ではなくその状況に応じた弾力的な運営・かじ取りがますます求められるようになってきていると思います。

これからも会員の代表として会務の執行を監査して参ります。今後とも本会の活動に対し会員の先生方のご支援ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

東京都国民健康保険団体連合会

審査委員 宮本 一世



国保審査委員の宮本です。

日頃より審査業務にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今回は、レセプト審査システムに関する最近の動向についてご報告いたします。

現在は別々に運用されている社保と国保の審査システムについて、共通化を目指す取組みが進行中です。厚生労働省、社保支払基金、国保中央会から昨年9月に出された「審査支払システムの共同開発の基本方針」によりますと、まず「レセプト電算処理システム」の共通化から着手し、共通のクラウド基盤を活用した新しいシステムを段階的に構築していくとされています。主なポイントは以下のとおりです。

- ・審査支払システムのうち、審査領域での「レセプト電算処理共通機能」の開発を開始する
- ・システム運用経費の削減と業務効率化を図る
- ・支払基金の「AIを活用したレセプト振分」に加えて、社国共同で、将来的なさらなるAI活用を目指す

一方で、国保と社保では制度の成り立ちや運用の違いも多く、システム統合は決して容易な作業ではありません。審査の現場に携わる立場としても、技術面・運用面の両方で高いハードルがあることを実感しています。

また、国保においては、特にAI活用も重要な柱として位置付けられています。国保でもAIによるレセプト振分の実証が行われ、その成果を踏まえて審査業務全体への活用が検討される予定です。件数増加や業務の複雑化が進む中で、こうした技術が適切に活用されれば、審査の質を保ちながら負担軽減につながることを期待されます。

今すぐに、医療機関での運用が変更されるものではありませんが、今後も検証を重ねながら進められますが、私たち医療機関の実情も踏まえた対応が大切になります。今後の進捗についても、会員の皆さまに分かりやすく情報提供してまいります。

東京都国民健康保険団体連合会  
審査委員 上原 直



令和7年1月より東京都国民健康保険団体連合会の審査委員（国保審査委員）を務めさせていただきます。

現在、東京国保連合会では毎月約100万件のレセプトを約50名の審査委員が審査にあたっています。審査は毎月7日間の会期中に行われ、1週間の過ごし方としましては、初日に紙レセプト審査を終え、その後は委員一人平均約2万件をコンピューターにて審査しております。国保の現状としましては、紙レセプトは全体の7%となっており、パソコンでの画面審査が中心に審査が行われています。その為、先輩先生に何うと以前よりも審査をしやすくなったと伺っております。

就任当初は審査会とは、どんなところなのか全くイメージもわからない状態で行きましたが、一年経過し少し慣れてきました。審査に関してはまだまだ知識も不足しており、先輩方に教えていただきながら一次審査にあたっています。

私たちの一次審査の結果、返戻が送付されます。診療所に届く返戻の多くは一部請求を修正していただければ請求が通る場合が多いと思われます。返戻が来た際は単に請求を取り下げのではなく不備を修正し再度請求していただければと思います。

また、練馬区歯科医師会からの国保審査委員には宮本先生、荒井先生と2名の現役審査委員がいらっしゃいます。国保審査会では一大勢力となっており練馬区の仲間がいることでとても心強く思っております。今後は、会員の先生方に正確な情報提供ができるように努めてまいります。引き続き何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 連盟だより

練馬区歯科医師連盟

理事長 村上 雅一



会員の先生方におかれましては平素より連盟活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。令和7年の連盟活動についてご報告いたします。選挙関係としては今年12年ぶりに6月に東京都議会議員選挙、7月には参議院議員通常選挙が連月にわたり行われました。都議選においては政権与党を支持する立場から本連盟では6人の候補者を推薦、応援いたしました。石破内閣、自民党の支持率が低い状況下での選挙は、練馬区においても参政党、国民民主党の新人が当選した影響もあり推薦候補当選者が3人だけという結果に終わりました。自民党は大幅に議席を減らし都民ファーストの会が第一党に返り咲きました。7月の参議院選は都議選の結果が影響すると言われていた通り自民党・公明党連立は過半数を失う結果となりました。自民党が政治と金の問題等により失墜した信頼を回復できていない状況下で、歯科界の組織代表比嘉奈津美候補は厳しい選挙戦となりました。比例代表選挙の結果は101,975票で惜しくも18位落選、自民党は前回から7議席減の12議席にとどまりました。6年前の114,596票（20位次点,2021年10月繰り上げ当選）を下回る結果に組織力、政治への関心度の低下を感じました。結果として残念ながら現在歯科界の組織代表は山田宏参議院議員一人となってしまいました。地区の活動としては8月に区役所において自民党、公明党への令和8年度練馬区歯科医師会要望書説明会を開催し浅田会長、担当理事とともに要望書実現に向けての説明をまいりました。9月には歯科医師会に協力的な自民党区議との懇談会、10月には練馬区公明党との歯科医療懇談会を開催しました。区議に対して歯科医師会の事業活動、要望書説明等を役員全員で行い理解と協力を求めることが出来たと思います。11月は東京都歯科医師連盟城北ブロック役員会を幹事地区として開催いたしました。本連盟では全員で出席し6地区の役員の先生方との交流を深めました。当日は東京都歯科医師連盟佐藤副会長、東京都歯科医師会北村会長（都歯連盟顧問）にもご出席いただき貴重な時間となりました。

## 会長挨拶文



練馬区学校歯科医会  
会長 南 誠二

私は平成20年に区立大泉学園小学校の学校歯科医になって17年になります。平成23年に練馬区学校歯科医会（以下練学歯）理事になり、総務2年、学術4年、専務2年務め、平成31年3月に退任しました。もう役員に復帰するつもりは無かったのですが、今回6年ぶりに練馬区学校歯科医会（以下練学歯）会長として復帰しました。リーダーには不向きな性格かつ未熟者ですが、ベテランの役員や優秀な学術委員に助けられています。さらに幸いなことに、練馬区から東京都学校歯科医会（以下都学歯）の役員に箭本・山室副会長、金田理事、学術委員会委員長に西村練学歯副会長、広報委員会の委員長に私、委員長代理に浅見練学歯理事、さらには日本学校歯科医会理事に山室都学歯副会長ということで、上部組織との連携もスムーズです。

さて、私は就任の挨拶で、「練馬区の児童生徒の口腔機能を発達させよう」というスローガンを掲げました。私が小中学生だった1970年代はDMF歯数が90%を超えていましたが、現在は30%前後です。令和5年度の12歳児の永久歯の一人当たり平均むし歯等数は0.55本です。もちろん、これからもむし歯や歯肉炎予防は力をいれていくべきですが、お口ぽかんの子は小学校低学年では3割で年齢と共に上昇し中学生では4割に達するという大規模調査の報告があります。これに対して練学歯が積極的に介入し、少しでも減らしていきたいと考えています。口腔機能発達不全症の診断と訓練が平成30年に保険収載されましたが、まだまだ十分に生かされていない状況ではないでしょうか？そこで、私は今期の学術委員会にそれを進めていくための諮問をしました。さらに、会員研修会はその分野の第一人者の浜野美幸先生をお迎えして実施いたしました。令和8年度診療報酬改定の基本方針（案）でも「口腔機能発達不全及び口腔機能低下への対応の充実」とあります。

..... 練学歯だより .....

ぜひ、練馬区歯科医師会会員、練学歯会員一人一人が日々研鑽を重ねて、練馬区の児童生徒の口腔機能向上のためにお力をいただきますよう宜しくお願い致します。

最後に、今まで1会員1校ならびに区立保育園医と学校歯科医兼任不可、さらに本会入会2年以上という条件が有りましたが、会員の高齢化や会員減少等により改正せざるを得ない状況となり、10月の臨時総会で会則を変更し、すべて撤廃いたしました。ご理解の上ご協力をお願いいたします。何かご意見ご要望有りましたら、何なりと私や他の役員にメール等でお聞かせください。



## 練水会活動報告

小池修

はじめに

練水会とは東京歯科大学同窓会練馬支部の愛称で、水は大学の所在地である水道橋に由来しています。この活動報告は令和7年に開催された同窓会の活動内容についてまとめたものです。同窓会は卒業生同士の交流を深める重要な機会であり、今後の活動促進に向けてさらに活発化させることを目標にしています。

活動内容

まず、2025年1月22日、新年雑話会が練馬の鳥ふじにて開催されました。参加者は約16名で、会場では新年のあいさつや今年の抱負などが活発に話あわれました。

4月19日には総会が会館にて開かれました。コロナ禍の影響も徐々に薄れてきて対面による活動をさらに進めてゆくという目標を掲げました。本会会務のスムーズな執行について浅田会長をはじめ、同窓の役員の方の先生方の活躍に感謝するとともに予・決算や1年間の活動計画が提案され、承認されました。

7月26日、暑気払いが池袋の華湘で行われ、猛烈な暑さを吹き飛ばすような豪華な湖南料理を満喫しました。

10月10日には前都歯理事の山本啓太郎先生をお招きして保険講習会を開催しました。

最新の情報をわかりやすく解説していただき、とても参考になりました。

12月4日に学術講演会として東京歯科大学老年歯科補綴学講座主任教授上田貴之先生をお迎えして「診療室で始めよう!オーラルフレイルと口腔機能低下への対応」についてご講演いただき、近年増加してきている高齢者のオーラルフレイルに対する理解が深まりました。

12月13日、忘年会が中村橋「勇の里」にて開かれました。20名もの多数の会員の参加のもと和気あいあいと今年を振り返って楽しいひと時を過ごしました。

## 活動の成果

同窓会活動を通じて、多くの会員が集い、親睦を深めることができました。また、情報交換も活発に行われ、新たな知見も得られました。

同窓ならではの和気あいあいの活動がこれからもさらに活発化してゆくように全員で盛り上げていきましょう。皆様のご参加とご協力を引き続きお願いいたします。



## 日本大学歯学部同窓会練馬支部について

日本大学歯学部同窓会練馬支部

支部長 瓦井 徹

### 練馬支部へようこそ

日本大学歯学部同窓会練馬支部は、練馬区にてご活躍されている先生方の相互の発展と親睦を目的として活動する、日本大学歯学部同窓会の全国89支部の一つです。

### 構成

私たちの支部は、伝統ある日本大学の同窓生、そして地域医療への熱意ある有志の先生方によって、令和7年12月現在、78名の会員で構成されています。

- ・日本大学歯学部を卒業された先生方
- ・日本大学松戸歯学部を卒業された先生方
- ・練馬支部の活動に共感していただいた、日大以外の学校を卒業された先生より幅広い情報とネットワークの構築を目指しています。

### 主な活動内容

練馬支部では、先生方の日常臨床と地域での歯科保健活動を力強くサポートするため、以下の3つの柱を中心に活動を展開しています。

#### 1. 親睦活動

定期的な懇親会を通じて、世代や学部を超えた縦と横のつながりを深め、情報交換やリフレッシュの場を提供します。

#### 2. 学術講演会

最新の知見や技術を共有するための研修会・講演会を開催し、日々の臨床能力の向上をサポートします。

#### 3. 保険講習会

複雑化する歯科医療保険制度について最新の情報を共有し、適正な診療と円滑な歯科診療所の経営を支援するため、保険講習会を開催しています。

練馬区における歯科医療の質の向上と、会員の先生の連携強化のため、私たち日本大学歯学部同窓会練馬支部の活動にぜひご参加ください。



## 東京都日本歯科大学校友会練馬支部

支部長 有福 章徳

東京都日本歯科大学校友会練馬支部では、本年度も「親睦」「学術」「地域との連携」の三つの柱を軸として、活発な活動を行ってまいりました。

学術事業としては、日本歯科大学生命歯学部講師であり、歯周治療分野における若き精鋭としてご活躍中の倉治竜太郎先生をお招きし、

「歯周基本治療をアップデート ～SRPから“ペリオドンタル・デブライドメント”へ！～」と題した講演会を開催いたしました。

本講演はオンライン形式にて実施され、多数の会員の先生方にご参加いただきました。歯周基本治療の最新の考え方や、明日からの臨床に直結する内容は非常に示唆に富み、世代を問わず多くの先生方にとって大変有益な勉強会となりました。

また、親睦事業としては、毎年恒例となっております忘年会を、練馬の「甲州」にて開催いたしました。世代を超えた多くの先生方が一堂に会し、日頃の臨床や近況について語り合うなど、親睦を深める貴重な機会となりました。

さらに、会員親睦会「**ROKUSAN ANGEL**」では、趣向を凝らした華やかな演出に会場から感嘆の声が上がり、その後の懇親会も大いに盛り上がりました。

練馬支部では、ベテランの先生方の豊富な経験と、若い先生方の新しい視点が自然に交わることを大切にしています。

これから校友会活動に参加してみようと考えている若い先生方にも、学びと交流の両方を気軽に楽しんでいただける場です。ぜひ私たちと一緒に、練馬支部の活動を盛り上げていきませんか。

今後も練馬支部では、会員相互の親睦を深めるとともに、学術的研鑽および地域との連携を大切にしながら、意義ある活動を継続してまいります。会員の皆様の引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和7年度学術講演会  
日本歯科大学 歯周病科 倉治竜太郎先生



令和7年度 忘年会 甲州にて



会員親睦会  
ROKUSAN ANGEL



学会報告

日本法歯科医学会第19回学術会議に参加して

警察歯科委員会委員長 梅田 博幸



第19回日本法歯科医学会第19回学術会議が令和7年5月25日（日）、日本大学歯学部 創設百年記念講堂ほか で開催されました。練馬区歯科医師会からは、笹川先生、西先生、黒田先生、梅田が参加しました。

大会長 網干博文先生の開会の挨拶によって開催された。今大会のテーマは、「原点回帰」でした。口演発表が5題行われた。15分の休憩を挟んで、特別講演 東京大学総合研究博物館教授の海部陽介先生「人間らしさをどう捉えるか？～人類進化学から考える3つの側面～」という演題での講演を拝聴した。

1. 「正常咬合」についての人類学的理解では、縄文時代人の咬合と現代人の咬合を比較しながら講演でした。調理などによる栄養摂取の変化など食事の変化が現代と過去では異なる。歯列形態の「正常」は異なっていたのだと再認識しました。

2. 「最初に日本人列島人」はどうやって困難な海を越えたか？  
TVで放映していた事があり、大規模なプロジェクトで海流（黒潮）をどのようにして越えてきたのか？映像で見ながらの講演で苦労話など興味深く拝聴しました。

3. 「人類の多様性」  
情報伝達の技術や交通の発展により、ホモサピエンスという視点で考えると多様性が失われた時代と言えるという事を考えることが出来ました。

昼休み後、総会が行われた。総会后、「令和6年能登半島地震における日本法歯医学会の対応について」の講演が日本法歯科医学会警察歯科、災害医療担当委員会委員長の岩原香織先生により行われた。

学会報告 ……………

その後、口演発表が5題行われた。ポスター発表は11の症例・事例報告が行われた。休憩後に、教養講演では関西医科大学法医学准教授の橋谷田真樹先生に「ヒトをわける～DNAによる個人識別」という演題の講演でした。

1980年代にイギリスで開発された「DNA鑑定」についての講演で、比較資料が無い場合でのDNAからわかる事を講演されていました。

DNA鑑定も進化していて、とても興味深く拝聴しました。

次期大会長の鶴見大学 佐藤慶太先生の挨拶が行われた。

その後、閉会挨拶が行われ、閉会となった。

懇親会は、中央大学の最上階Good View Diningにて行われた。関係者と親睦を深めました。

左から、西先生、笹川先生、黒田先生、梅田



## 第59回東京都学校歯科保健研究大会 ポスター発表

### 「給食後の歯みがき」と「フッ化物洗口」の推進

大川内 誠、生田 剛史、瓦井 徹、佐藤 公男、大塩かおり、山室 直子、西村 滋美、西 克昌、草柳 英二  
練馬区学校歯科医会 学術委員会

#### ● 諸言

練馬区学校歯科医会は、平成27年より練馬区の「児童・生徒の歯と口の健康推進事業委員会」において、区内の児童・生徒の歯と口の健康管理を念頭に幼稚園・各学校等での「給食後の歯みがき」と、「フッ化物洗口」を推進し、その実施を現在もなお提唱しています。

令和元年12月に報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に大流行し、令和5年5月に厚生労働省が感染症の2類から5類に移行した時期までの練馬区の児童生徒への学校歯科保健活動について、さらに令和4年に本会が区内の幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校の養護教諭に実施した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大における学校歯科健康診断についての養護教諭対象アンケート調査」<sup>1)</sup>から得られた内容もふまえて報告致します。

#### ● 練馬区の児童生徒への学校保健活動

##### 1) 給食後の歯みがきの推奨

練馬区学校歯科医会では、平成27年より長年にわたり給食後の歯みがきを推奨してきましたが、実施校数は増えませんでした。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、学校における給食後の歯みがきは中止され、普通校で再開された学校はごくわずかでした。

一部の特別支援学校は再開されましたが、再開された学校では、“換気や、フェイスシールド、ゴーグルを活用し行っている”などの回答がありました。

##### 2) 歯ブラシの配布

給食後の歯みがきを推奨するために、平成30年9月より区内の小・中学校へ歯ブラシの配布を毎年遂行しております。

令和5年度は、練馬区教育委員会を通して小学校5校・中学校4校に4000本強を配布しました。

3) 手指消毒用の消毒薬の配布

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、令和5年の現在まで学校歯科保健活動に大きな変化をもたらしました。私たちは、感染防止対策の徹底と歯科健康診断の時期の変更および口腔衛生指導方法の変更などについて検討し対応を行いました。学校への安全対策として、環境衛生における消毒などの強化のために、毎年手指用の消毒液を練馬区内の全校に配布しています。

4) 学校保健委員会の開催について

令和2年度および3年度の学校保健委員会の開催に関しては、2年間開催しなかった学校（45.5%）が最も多く、令和3年度開催した学校（33.3%）は、令和2年度（16.7%）より多くなりました。2年間紙面開催（9.1%）となった学校もありました。（図1）新型コロナウイルス感染症

（COVID-19）が流行してから2年間は、学校保健委員会の対面での開催が困難となったために、学校関係者および各学校医等と保護者方との情報交換も得られませんでした。児童・生徒の心身の健康維持のためにも学校保健委員会の開催が必要だと思えます。

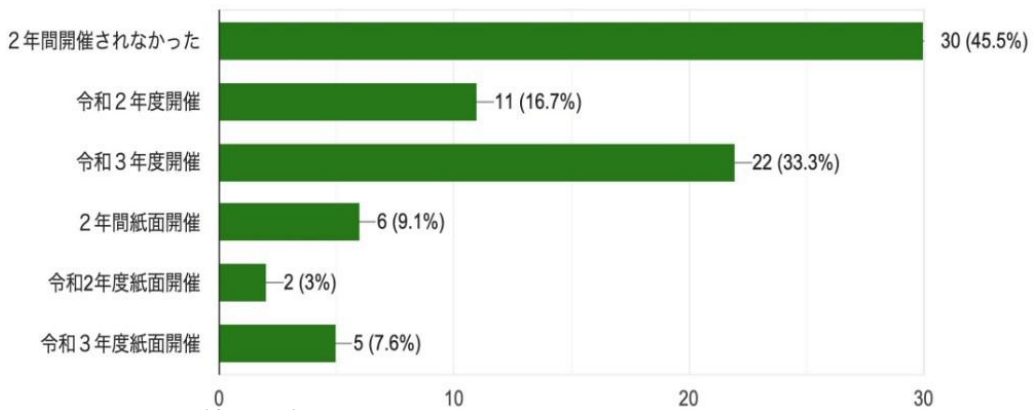
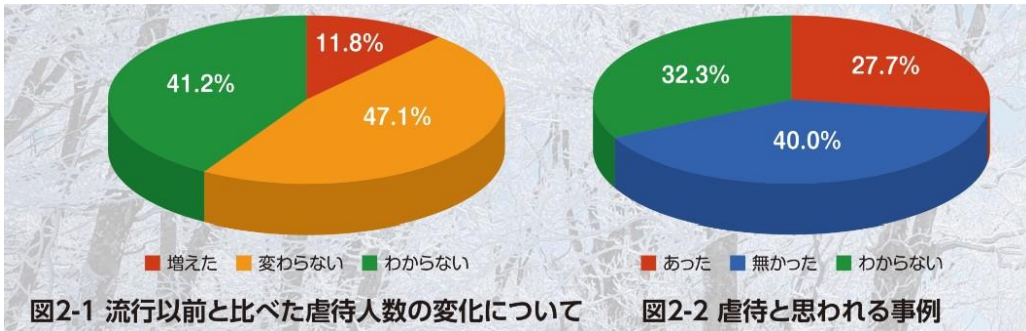


図1 学校保健委員会は開催されたか

5) 練馬区内の虐待およびネグレクトについて

令和4年に区内の幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校の養護教員に実施したアンケート調査によりますと、練馬区内の虐待およびネグレクトは増加傾向にありました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行により社会状況が厳しくなっていることから、保護者の生活環境も悪化し、令和3年には子どもに対する虐待やネグレクトが最多であるという報告があります。<sup>2)</sup>

今回、“虐待がある”との回答は、新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ増加傾向であると判明しました。（図2-1、2-2）



### 6) フッ化物洗口の推進

練馬区学校歯科医会は、令和3年にフッ化物洗口の理解を深めるために、練馬区教育委員会・健康推進課および幼稚園・小中学校と保護者や保健所等に対し、安心安全なフッ化物についてのパンフレットを作成し提供しました。

①児童生徒に伝えたいフッ化物のお話：学校長・養護教諭・学校職員を対象

②保護者の皆様へ フッ化物でむし歯予防！：保護者を対象

また、練馬区学校歯科医会のホームページにも①を掲載し②にはQRコードを添付し、タブレットやスマートフォン等で読み込むことにより、ホームページの情報①を提供できるようにしました。

(図3)

## フッ化物についてのパンフレット



図3 フッ化物についてのパンフレット

フッ化物を応用したむし歯予防法には、①フッ化物洗口②歯科医院でのフッ化物歯面塗布③フッ化物入りの歯みがき剤の使用などの3種類あります。

フッ化物洗口はむし歯予防効果が50~80%と最も高く、家庭でも手軽に行うことができます。また、保育園・幼稚園・義務教育の小・中学校では集団で実施することを推奨します。

フッ化物洗口は、一定濃度のフッ化ナトリウム溶液(5~10ml)を用いて1分間ブクブクうがいを行う方法で、もっともむし歯ができやすい時期の4歳くらいから始め、成人になっても継続することで、一生涯健康な歯を維持することができます。フッ化物の濃度により、毎日行う方法(250~450ppm)と、週1回行う方法(900ppm)があります。フッ化物洗口は、始めてすぐ効果が出るものではなく、数年かけて少しずつ歯の表面のエナメル質を変えるために、長い期間実施するほど効果が高まります。

幼稚園、小・中学校で集団フッ化物洗口を実施した場合の利点

①家庭内で4歳~15歳まで毎日実施継続することは難しいですが、集団生活で、行政のサポート体制上での週1回の実施は、確実に継続することができます。

②実施している施設内(保育園・幼稚園・小中学校)の全ての子供に効果が現れます。

③実施者方は、歯と口の健康全般の関心が深められ、学校歯科保健に対する保護者の理解と協力も高まり、保育園・幼稚園・小中学校における保健活動全般の活性化を促すこととなります。

## ● 考察

近年、さまざまな感染症や新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の流行下において、コロナ禍以前のような状況での給食後の歯みがきを実施することやフッ化物洗口の実施を開始することは、いまだ困難かと考察します。

しかし、歯みがきによる飛沫感染でのクラスターは、現在のところ報告されていません。口腔内を清潔に保つことは感染症予防でもあり<sup>3)</sup>、給食後の歯みがき再開を推行するために、区内の小・中学校への歯ブラシの配布を継続していく所存です。

また、近年厳しい社会状況化となり、貧困家庭や児童虐待の増加傾向があるため<sup>2)</sup>、学校歯科医として、学校保健委員会での各関係者との情報交換をすることは不可欠と考察します。

今後も幼児・児童・生徒の歯と口の健康推進のために、給食後の歯みがきとフッ化物洗口を推奨し、早期の実施開始を願望します。

● 参考文献

- 1.大川内誠、生田剛史、瓦井徹、佐藤公男、大塩かおり、西村滋美、西克昌、穂坂康朗、草柳英二：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大における学校歯科健康診断についての養護教諭対象アンケート調査. 日本学校歯科医会会誌.2024:135:76-82
- 2.厚生労働省:児童虐待相談の対応件数推移及び虐待相談の内容・相談経路 (<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000989486.pdf>)
- 3.日本歯科医師会 HP：「口腔ケアで免疫力アップ」(<https://www.jda.or.jp/corona/Oral-care-Immunity.html>)

第5回東京都学校歯科保健研究大会 ポスター発表

「給食後の歯みがき」と「フッ化物洗口」の推進

大川内 誠、生田 剛史、瓦井 徹、佐藤 公男、大塚 かおり、山室 直子、西村 滋美、西 克昌、草柳 英二

練馬区学校歯科医会 学術委員会

● 緒言

練馬区学校歯科医会は、平成27年より練馬区の「児童・生徒の歯と口の健康推進事業委員会」において、区内の児童・生徒の歯と口の健康管理を念頭に幼稚園・各学校等での「給食後の歯みがき」と「フッ化物洗口」を推進し、その実施を現在もおこなっています。令和元年12月に報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に大流行し、令和5年5月に厚生労働省が感染症の2類から5類に移行した時期までの練馬区の児童・生徒への学校歯科保健活動について、さらに令和4年に本会が区内の幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校の養護教諭に実施した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大における学校歯科健康診断についての養護教諭対象アンケート調査」<sup>1)</sup>から得られた内容もふまえて報告致します。

● 練馬区の児童・生徒への学校保健活動

1) 給食後の歯みがきの推奨

練馬区学校歯科医会では、平成27年より長年にわたり給食後の歯みがきを推奨してきましたが、実施校数は増えませんでした。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、学校における給食後の歯みがきは中止され、普通校で再開された学校はごくわずかでした。一部の特別支援学校は再開されましたが、再開された学校では、「換気や、フェイスシールド、ゴーグルを活用している」などの回答がありました。

2) 歯ブラシの配布

給食後の歯みがきを推奨するために、平成30年9月区内の小・中学校へ歯ブラシの配布を毎年行っています。令和5年度は、練馬区教育委員会を通して小学校5校・中学校4校に4000本配布されました。

3) 手指消毒用の消毒薬の配布

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、令和5年の現在まで学校歯科保健活動に大きな変化をもたらしました。私たちは、感染防止対策の徹底と歯科健康診断の時期の変更および口腔衛生指導方法の変更などについて検討対応を行いました。学校への安全対策として、環境衛生における消毒などの強化のために、毎年手指用の消毒薬を練馬区内の全校に配布しています。

4) 学校保健委員会の開催について

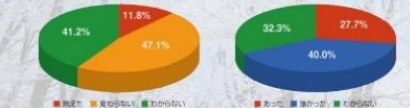
令和2年度および3年度の学校保健委員会の開催に関しては、2年間開催しなかった学校（45.5%）が最も多く、令和3年度開催した学校（33.3%）は、令和2年度（16.7%）より多くなりました。2年間開催率（9.1%）となった学校もありました。（図1）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行してから2年間は、学校保健委員会の対面での開催が困難となったために、学校関係者および各学校医等と保護者方との情報交換も得られませんでした。児童・生徒の心身の健康維持のためにも学校保健委員会の開催が必要だと思います。



5) 練馬区内の歯待およびネグレクトについて

令和4年に区内の幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校の養護教諭に実施したアンケート調査により、練馬区内の歯待およびネグレクトは増加傾向にありました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により社会状況が悪くなっていることから、保護者の生活環境も悪化し、令和3年には子どもに対する歯待やネグレクトが最多であるという報告があります。<sup>2)</sup>

今回、「歯待がある」との回答は、新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ増加傾向であると判明しました。（図2-1、2-2）



6) フッ化物洗口の推進

練馬区学校歯科医会は、令和3年にフッ化物洗口の理解を深めるために、練馬区教育委員会・健康推進課および幼稚園・小中学校と保護者や保健所等に対し、安心安全なフッ化物についてのパンフレットを作成し提供しました。

- ① 児童・生徒に伝えたいフッ化物のお話：学校長・養護教諭・学校職員を対象
  - ② 保護者の皆様へ フッ化物でむし歯予防！：保護者を対象
- また、練馬区学校歯科医会のホームページにも<sup>3)</sup>を掲載し<sup>2)</sup>にはQRコードを添付し、タブレットやスマートフォン等で読み込むことにより、ホームページの情報<sup>3)</sup>を提供できるようにしました。（図3）



図3 フッ化物についてのパンフレット

フッ化物を応用したむし歯予防法には、①フッ化物洗口、②歯科医院でのフッ化物歯面塗布、③フッ化物入り歯みがき粉の使用などの3種類あります。フッ化物洗口はむし歯予防効果が50～80%と最も高く、家庭でも手軽に行うことができます。また、保育園・幼稚園・義務教育の小・中学校で集団で実施することを推奨します。フッ化物洗口は、一定濃度のフッ化ナトリウム溶液（5～10ml）を用いて1分間ブクブクがいをを行う方法で、もっともむし歯ができやすい時期の4歳～5歳から始め、成人になっても継続することで、一生生涯健康な歯を維持することができます。フッ化物の濃度により、毎日行方法（250～450ppm）と、週1回行方法（900ppm）があります。フッ化物洗口は、始めてすぐ効果が出るものではなく、数年かけて少しずつ歯の表面のエナメル質を変えるために、長い期間実施するほど効果が高まります。

幼稚園、小・中学校で集団フッ化物洗口を実施した場合の利点

- ① 家庭内で4歳～15歳まで毎日実施継続することは難しいですが、集団生活で、行政のサポート体制上の週1回の実施は、確実に継続することができます。
- ② 実施している施設内（保育園・幼稚園・小・中学校）の全ての子供に効果が現れます。
- ③ 実施者方は、歯と口の健康全般の関心が深められ、学校歯科保健に対する保護者の理解と協力も高まり、保育園・幼稚園・小中学校における保健活動全般の活性化を促すこととなります。

● 考察

近年、さまざまな感染症や新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行下において、コロナ禍以前のような状況での給食後の歯みがきを実施することやフッ化物洗口の実施を開始することは、いまだ困難かと考察します。

しかし、歯みがきによる飛沫感染でのクラスターは、現在のところ報告されていません。口腔内を清潔に保つことは感染症予防でもあり<sup>4)</sup>、給食後の歯みがき再開を推進するために、区内の小・中学校への歯ブラシの配布を継続していく所存です。

また、近年厳しい社会状況となり、貧困家庭や児童虐待の増加傾向があるため<sup>5)</sup>、学校歯科医として、学校保健委員会での各関係者との情報交換をすることは不可欠と考察します。今後も幼児・児童・生徒の歯と口の健康推進のために、給食後の歯みがきとフッ化物洗口を推奨し、早期の実施開始を願います。

● 参考文献

- 1) 大川内誠、生田剛史、瓦井徹、佐藤公男、大塚かおり、西村滋美、西克昌、櫻坂康朗、草柳英二。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大における学校歯科健康診断についての養護教諭対象アンケート調査。日本学校歯科医会誌。2024；135：76-82
- 2) 厚生労働省。児童虐待相談の対応件数推移及び虐待相談の内容。相談記録。https://www.mhlw.go.jp/content/11907000\_000989486.pdf
- 3) 日本歯科医師会HP。「口腔ケアで免疫カアップ」https://www.jda.or.jp/coo/pna/Oral-care-Immunity.html



## 第4 2回日本障害者歯科学会に参加して

大塩 かおり

2025年10月31日（金）～11月2日（日）にかけて大阪国際会議場（クランキューブ大阪）で第4 2回日本障害者歯科学会総会及び学術大会が開催されました。31日の認定医、認定歯科衛生士研修会は土砂降りの中で始まりましたが、翌日は雨も上がり会場までの移動も楽になりました。大阪のたこ焼き、お好み焼き、土手焼きなどもいただくことができ、大変有意義な時を過ごすことができました。

今回のテーマは～みんなが支える障害者歯科医療～でした。理事長講演では日本障害者歯科学会の故きを温ねて新しきを知る＝学会が行ってきたこと、行っていること一、特別講演ではオートファジー（Autophagy）と疾患・老化、教育講演は最新カリオロジーが示すう蝕予防法、医療安全セミナー、若手学術奨励賞公開プレゼンテーション、診療ガイドライン作成委員会企画の障害者歯科医療ガイドラインの共有として海外への発信としての講演、ランチョンセミナー、委員会企画講演、教育講座では、「自閉症スペクトラム症児の感覚偏倚と食事の問題行動にどう取り組むか」、「大規模災害時にも地域で障がい児・者を守る 知っておくべき障がい者歯科の保健行動」、「障害者の歯科診療時の意思決定支援」、宿題委託研究報告としては「脳内オキシトシンを応用した生体親和性の高い鎮静法」などと多岐に渡りました。また、一般口演（40演題）、ポスター討論（307演題、そのうち17演題は海外）その分類は、行動調整・心理支援・教育、薬物的行動調整・全身管理、地域連携・在宅・診療体制、疫学・実態調査、摂食嚥下・口腔機能、基礎・トランスレーショナル研究などに分類された中で、練馬区歯科医師会としては、今回疫学・実態調査の項目の中でポスターセッションでの発表をさせていただきます。

同じようなアンケート調査を検討しているという先生方のご意見を伺ったり、つつじ歯科指導医の太田和先生からも学会認定医を目指している先生方も当療所が大変良い環境であるので積極的に目指していただきたいという貴重なご意見をいただくことができました。

ポスターは丸2日間展示させていただきました。アンケート調査にご協力下さった協力医の先生方にあらためてこの場を借りて御礼申し上げますとともに、地域医療委員会の先生方のご協力により、つつじ歯科について発表することができましたことを感謝いたします。

今後のつつじ歯科診療所がより地域に根ざし、発展する一助になる事を願います。

# 協力医へのアンケート調査

(地区障害者歯科診療所、摂食嚥下リハビリテーション外来・訪問)

○大塩かおり・西村滋美・南誠二／公益社団法人練馬区歯科医師会

Survey for collaborating cooperating dentists (District Dental Clinic for People with Disabilities, Dysphagia rehabilitation out-patient clinic/home visit)

OSHIO KAORI・NISHIMURA SHIGEMI・MINAMI SEIJI / Public Interest Incorporated Nerima Dental Association

## 【緒言】

地区障害者歯科診療所は1996年より開設され、摂食嚥下リハビリテーション外来・訪問(以下、摂食嚥下リハ)は2006年から開設されている。開設当初より大学からの指導、練馬区歯科医師会会員からの協力医が精善制で、様々な障害を持つ方の診療を行う地域歯科診療所として位置づけられている。今回、アンケート調査を行うことで、協力医の就業状況並びに、地域に根差した診療所としての役割を再評価・考察し、診療所の機能を充分发挥できるように役立てることを目的としている。

## 【対象と方法】

対象者協力医は73名。方法は、会員各自に歯科医師会から郵送で送られてくるメールアドレスに返信し回答を持って同意とみなした。日本障害者歯科学会常任委員会承認後(承認番号24027)を行った。

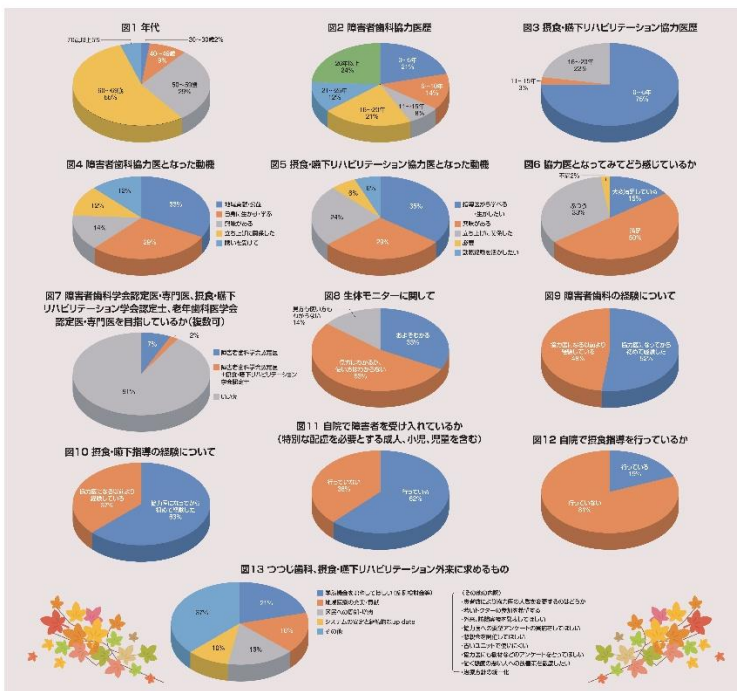
## 【結果】

有効回答者は57名(有効回答率78%)。以下に結果を示す年代は60代55%、次で50代が29%、60歳以上は全体の60%を占める(図1)。診療所協力医は26年以上が24%で一昔多く、20年以上は36%(図2)。摂食嚥下

リハ協力医は5年未満が75%(図3)。障害者歯科学会員であるものは9%で、認定医は5%。摂食嚥下リハ学会会員であるものは3%で、認定士は2%であった。障害者歯科協力医となった意義としては地域貢献・公益のための最も多く33%、次いで自身に生きがいを、学びのため、興味がある、立ち上げに関与したと続いた(図4)。摂食・嚥下リハビリテーション協力医となった動機は指導医から学ぶ・生かしたいが35%と最も多く、次で興味がある、立ち上げに関与したと続いた(図5)。協力医になっている満足度は満足、大変満足を含むと65%となった(図6)。学会認定医、専門医、認定士の取得希望は9%あり、2%は複数の認定を目指している(図7)。

生体モニターに関しては33%があまりそわそわのに対して、見方はわかるが使い方がわからないが63%。見方も使い方もわからないが14%(図8)。

障害者歯科の経験については、協力医になってから81%(図9)。摂食嚥下指導の経験については、協力医になってから81%(図10)。自院で障害者を受け入れているかに関しては62%が行っている(図11)。自院での摂食指導を行っているかに関しては19%が行っている(図12)と回答した。協力医として当診療所に望むこととしては、学ぶ機会を増やしてほしいが21%と最も多く、次で障害者地区医への充実・貢献、市民の福祉・増進・生活の質の向上の16%、システムの安定と数値的なup dateが挙げられた(図13)。



## 【考察】

地区歯科診療所の協力医を対象としたアンケート調査はあまり見られない。当地区歯科診療所での障害者歯科治療は毎週木曜日、土曜日の午前・午後、摂食・嚥下リハビリテーション(以下、摂食・嚥下リハ)外来・訪問は外来は75歳の定年制を設けている。年齢構成の60%が60歳以上で構成されていることは、大学病院や専門病院とは異なる年齢構成であることが特徴である。協力医が障害者歯科に関しては26年以上が一昔多く、開設当初から長期、障害者地域医療を継続する歯科医師が多いことが考えられる。そのため年々も継続するに違いなく、傾向があると考えられる。一方、摂食・嚥下リハに関しては、開設当初は比較的新しい分野であり、開設当初は協力医希望者には摂食・嚥下リハに関する計4回の進学を全て参加することが条件づけられていた。摂食・嚥下リハ協力医の5年未満が多い理由としては、近年協力医の希望者が増えたため、また当初協力医として参加した歯科医師の高齢化が進んだため、協力医の再募集が行われたためと考えられる。現在、摂食・嚥下リハ協力医に関しては協定の講演会、研修会の参加を条

件に協力医の募集を行っている。協力医となった動機として多かった、学びたい、指導医の診療を実際に見て自身に生かしたい、という意見は、障害者歯科学会認定医取得を目指している会員がいること、自院での障害者受け入れを行っているものが6割以上いること、摂食指導を行っているものが約3割いることなどの回答状況から、毎年協力医候補を定めるために定期的に行っている講演会、研修会に加え、今後は個別研修の参加も望まれる。また歯科衛生士をはじめ、スタッフ、都内の4大学からの指導医が存在することは当地区歯科診療所の大きな特徴であると考えられる。この特徴を生かし、地区診療所を安全に継続的に機能させるためには、協力医のモチベーションの維持は欠かせない。そのためには、定期的な実績報告も必要と考える。今後は、協力医の様々な意見を聞きつつ地域貢献の目的を果たせる工夫が必要であると考えられる。

本発表に関連して申告すべき利益相反(COI)はない。

## 練馬つづじ歯科診療所に携わって感じていること

東京歯科大学 歯科麻酔学講座  
三上 香織



2023年4月より、毎週木曜日の午前中にいらっしゃる患者さんの全身管理を担当している三上香織と申します。これまで長きにわたって勤められた一戸達也教授や寺川由比先生の後任で参りました。練馬つづじ歯科診療所には他大学からも多くの指導医の先生方が勤務されており、身の引き締まる思いでおりますが、私はもともと秩父市出身であるため、西武線沿線の練馬で勤務できることにご縁も感じ、非常に嬉しく思っております。

練馬つづじ歯科診療所に来られる患者さんの中には、てんかん重積状態を頻繁に起こしている方や国内初の遺伝子疾患の可能性のある方、これまで全身疾患の手術優先で歯科治療を受けてこられなかった方など、大学でもあまりみられないようなリスクの高い方が時折初診でいらっしゃることに驚きました。このような患者さんにも安全な歯科治療を提供できるように、モニタリングのほか静脈内鎮静法や全身麻酔のご提案、また総合病院の歯科のご紹介など、その患者さんにとって安全第一でベストな管理方法を見極めていくことが使命と考えております。また、東京歯科大学水道橋病院で全身麻酔を行う際には、自分で担当することが可能となるので麻酔計画も立てやすく、練馬つづじ歯科診療所での定期健診で全身麻酔後の経過も拝見することができるので、一連の流れに携わることができ大きな喜びを感じております。

今後もスムーズに連携できるよう努めて参りたいと思います。練馬区歯科医師会の先生方、衛生士さんをはじめスタッフの皆様、これからも練馬区の患者さんに貢献できるよう最善を尽くしたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 今後ともどうぞよろしくお願いいたします

練馬つづじ歯科診療所  
歯科衛生士 奈良 伸子



平成17年9月より勤務しておりました練馬つづじ歯科診療所を、家庭の事情により令和2年9月に退職しましたが、ご縁があり令和6年2月より再び勤務させていただいております。退職した後は、夫の仕事の都合で大阪の堺市に生活の拠点を移しておりました。

ご存じの方も多いかと思いますが、大阪府堺市は世界遺産に認定されている百舌鳥・古市古墳群の百舌鳥古墳群エリアがあるところですが、百舌鳥古墳群エリアで有名なのは、日本で一番大きな前方後円墳である仁徳天皇陵古墳かと思っております。そして、古墳群というだけありまして、百舌鳥古墳群エリアには、4世紀後半から5世紀後半ごろに造られた古墳が、44基も残っているそうです。堺市のホームページによりますと、仁徳天皇陵古墳の墳丘長は486mで、豪も含めると最大長が840mあり、その全体像を見るには100m以上の高さの建物に登る必要があるとのことですが、しかし、法令により周辺に高い建物を建てることができないため、全体像を見学できる場所がありませんでしたが、仁徳天皇陵古墳がある大仙公園内で令和7年10月よりガス気球が運行されようになり、上空から全体像を見ることができるようになったそうです。

私もいつかその気球に乗って、教科書や資料で見るとような仁徳天皇陵古墳の姿を自分の目で見たいと思っております。練馬つづじ歯科診療所に再び勤務させていただき、R8年2月で2年になります。3年半ほど離れておりました間に、診療所が変化した部分や、自分が失念していたことなどがあり、当初は戸惑うことがありましたが、この2年間、大きな事故もなく業務に従事することができました。

これもひとえに先生方のご指導、スタッフの皆様のお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。これからも事故のないよう医療安全に務め、業務に取り組んでまいりますと存じます。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新星のページ

菅家 康介 (かんげ こうすけ)

日本大学歯学部 2009年卒



自己紹介・抱負

大学卒業後、都内の大学病院、大学院、一般病院の勤務を経て元々実家である土地を  
歯科医院として建築し開業いたしました。

口腔外科を生業としていた期間も長く、バックグラウンドを活かし地域医療に貢献し  
てまいります。

奈良 裕之(なら ひろゆき)  
昭和医科大学 (旧昭和大学)  
歯学部 2012年卒



### 自己紹介

この度練馬区歯科医師会に入会致しました奈良 裕之と申します。私は昭和医科大学口腔外科を卒業したのち、東京都内で勤務医を経てこの度2025年に中村南歯科医院を開業致しました。勤務医時代には歯周病やマイクロスコープの勉強を重視してきました。多くの海外での研修を経て最新のエビデンスをもって地域の皆様に治療をしていきたいと考えております。

### 抱負

今後地域の皆様の健康に少しでも役立てるように精進し、歯科医師会の先生方にもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 趣味

格闘技観戦、キックボクシング

豊田 一郎（とよだ いちろう）

神奈川歯科大学 歯学部 1999年卒



### 自己紹介

平成11年神奈川歯科大学卒業です。

獨協中学から大学まで競技スキー部に所属していました。大学4年時に主将として第29回ALL DENTALの大会を主催したのが貴重な経験となりました。

知り合いの先生が急逝され、診療所を思いがけず引き継ぐことになり、平成15年渋谷区本町に豊田歯科クリニックを開業しました。

開業20年の節目に令和6年2月から実家豊玉の豊田歯科医院を継ぐことになり、母は小児歯科を担当し、自分が院長として共に診療しております。

### 抱負

微力ながら地域の歯科診療に貢献できるよう、ご指導頂き勉強して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

### 趣味

R&B鑑賞 MT車ドライブ 東亜珈琲巡り

## ブロックだより

### 大泉ブロック

#### 大泉ブロックだより

生田 剛史

まったくブロック長交代の気配もない万年ブロック長の生田が大泉ブロック会の報告をさせていただきます。2025年度は春夏の前期になかなか都合が合わず忘年会の1回だけの開催となってしまいました。どうも申し訳ございませんでした。

忘年会は11月26日、大泉学園のイタリアンレストランカルドにて22名の先生方をお迎えして盛大に開催されました。1年ぶりに再会した先生も多く美味しい料理とお酒に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を共有いたしました。御年92歳の佐藤貞彦先生も元気に参加され、1次会終了後みんな2次会に繰り出し流れ解散となりました。

コロナ禍以来会員の先生方と直接お会いする機会がほとんど無くなっていく昨今、改めてブロック会での交流は大切な場所だと感じる1日となりました。

来年度は2回の開催が目標です。最後になりましたがブロック会開催におきまして幹事会計の安齋先生、山中先生、吉川先生お忙しい中本当にありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

佐藤貞彦先生は2026年1月7日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



レストラン カルド (大泉学園)



二次会は肉汁餃子のダンダダン (大泉学園)

## 関・上石神井ブロック

### 関・上石神井ブロックだより

佐藤 大翼

関・上石神井ブロック長の佐藤大翼です。

関・上石神井ブロックでは、2025年2月19日、上石神井にあります「ビストロサ  
ンタンナ」にて、また夏期は2025年8月27日、同じく上石神井にあります「月のヒ  
ナタ」にてブロック会を開催しました。

2月19日の会には、竹本さやか先生、8月27日の会には菅家康介先生が新しくご参加  
くださり、とても有意義な楽しい会となりました。

ただいま筆者は（原稿をつくっている2025年12月）鋭意2026年2月のブロッ  
ク会を計画中でございます。私のブロック長任期は次回の会までとなります。関・上石神  
井ブロックの先生方、ご参加くださった先生方、ありがとうございました。副ブロック  
長、会計をそれぞれ引き受けていただいた内藤康雄先生、村上雅一先生にも心から感謝申  
し上げます。



---

## 北町ブロック

### 北町ブロック会2025

佐久間 栄

いよいよ秋も深まり紅葉が美しく色づき朝晩の冷え込みが増してきました11月22日に、北町ブロック会（練北会）が最近恒例になってきた板橋区徳丸にある中華料理店鳳龍亭で行われました。

参加者は、中田元学校歯科医会会長、関東元歯科医師会会長ら重鎮の先生に加えて浅見先生、小杉先生、山本先生、治田先生、関先生、日下先生、私の少数精鋭9名でした。鳳龍亭の馬さんはホスピタリティーが素晴らしく、楽しい雰囲気のお店は会員の皆さんにお勧めです。

会合では北町ブロックの先生の元気な顔を拝見でき、参加者全員に近況報告をして頂きました。小杉先生は学校歯科医25年継続し叙勲を受けたお話や、メンバーが高齢化になって来ましたので自身の健康状態の報告、終活の話、政治や物価の話、新しく出来た練馬光ヶ丘病院の歯科口腔外科の情報などで盛り上がりました。優しく楽しい先生達に囲まれて大変有意義な会合となりました。

早いもので私のブロック長も幹事の小杉京子先生、日下崇先生と共にコロナ渦を挟んで4年経ち任期終了となりました。新ブロック長には吉積宏祐先生が就任することになり、新幹事には漆原剛起先生と池田春樹先生に決まりました。これからどうぞよろしく願いいたします。

次回の開催は新ブロック長の吉積先生のリーダーシップにより開催される予定です。練北会の先生のたくさんのご参加をお待ちしております。

最後に長い間、ブロック会の運営にご尽力頂きました小杉先生、日下先生、会を盛り上げていただける中田先生に感謝申し上げます。



## 富士見ブロック

### 中村・富士見ブロックだより

蓮池 敏明

中村・富士見ブロックは、COVID-19の流行前後からあまり集会を行なっていませんでした。しかし昨年の忘年会に続き、今年は7月12日に納涼会を開催できました。当日は日本料理「にわの」にて楽しく歓談いたしました。練馬区は広く、練馬区歯科医師会は大所帯であり、ブロック会のようにお互いの顔が見え、小回りのきく集会は大事だと考えます。

昔のように毎月開催とは言わないまでも、今後は頻繁にブロック会を開催し、会員の親睦を図っていきたいと願っております。“多様性の中の統一“あるいは”多様性の中の調和“という言葉があるようです。これはいろいろな価値観、宗教観の元での合意というような意味だと理解できます。本歯科医師会にはたくさんの歯科医が所属していらっしゃるので、当然のことですが考え方も少しずつ違ってきます。しかしながらステークホルダーの利益を第一に考えた上での自己研鑽と幸福の追求という点では一致しているのとあります。

今後とも中村・富士見ブロックを、そして本会への参画を宜しく願います。



..... ブロックだより.....

---

## 江古田ブロック

### 江古田ブロックだより

村松 美樹

2023年より2027年3月までの4年間、江古田ブロックのブロック長を務めております村松と申します。

任期については当初やや戸惑いもありましたが、現在は先生方のお力をお借りしながら務めております。これまでのところ、主な役割は忘年会の開催が中心となっており、無事に続けられていることをありがたく感じております。

私は2006年（平成18年）に入会して以来、長く江古田ブロックでは後輩の立場でしたが、年齢的に若手というわけではなく、ブロックの将来については以前から気にかかるところがありました。しかし、2019年（令和元年）に荒井秀次先生が忘年会に初参加され、その後コロナ禍を経て、2023年に柳田泰志先生、2024年に篠弘道先生、2025年には三宅由紘先生と、将来有望な先生方が続いて参加してください、心強く感じております。

2025年度の忘年会は、沼口隆二先生のご挨拶で和やかに始まり、初参加の先生方には自己紹介をお願いしました。初参加の先生がいらっしゃる際には、交流しやすいよう名札の着用をお願いしており、写真にもその様子が写っています。終盤には手塚通夫先生の楽しい閉会の辞があり、終始笑顔の絶えない会となりました。いつもこのような雰囲気なので、忘年会は、穏やかで温かい先生方との交流に癒される、私にとって年に一度の大切な楽しみとなっています。

江古田ブロックの報告：

ブロック会費は十分に積み立てがあるため、引き続き会費は徴収しておりません。2025年の忘年会では参加費を5,000円とし、残りをブロック会費から補填す

る形を試験的に実施しましたが、当日ご出席の先生方のご承認をいただき、来年も同様の形で継続する予定です。

また、参加しやすさを考え開催日時を「12月第2週木曜日19時」と固定しましたが、主催側の都合がつかず欠席となる反省もありました。これを踏まえ、来年からは「12月第2週の水曜日または木曜日19時」とし、より多くの先生方にご参加いただけるよう調整していく予定です。

今回は、毎回の忘年会後に先生方へお送りしていた写真のコラージュを、ブロック日よりをお休みしてしまった2023年・2024年分も含めて提出いたします。

今後も無理のない形で、江古田ブロックの活動を続けていければと思っております。s



## 女性の目線でみた歯科診療



本田 美知子

昭和卒業の私の学生時代は、女子学生の割合は男性のほぼ1/8程度、今の研修医制度などなく、気持ち的には卒業したらどこかの勤務医になりいずれ結婚などもあり、歯科医師としての仕事は第一選択ではない部分も多かったような気がしています。

まだ歯科医院も先生によっては、朝早くから患者さんが医院の前に並んで順番をとり、ごはんを食べる時間も惜しんで診療をしている そんな時代でしたから、大学に残っていた主人や兄の手を借りて思い切って開業をしたのです。今にして思えば、臨床経験も浅いなかよく開業したものだと・・・まったく怖いもの知らずでした。

時は流れ、歯科医師過剰時代となり、テナントが空けばすぐ歯科医院ができる そんな時代へとなってきました。歯科大学の学生数をみても、現在はほぼ50%女子学生です。そして、一人で歯科医院を開業する女性も飛躍的に増えました。あえて女性を全面に押し出す必要はなくなりました。

せっかく6年間必死に勉強して勝ち取った国家資格です。それを活用しないのは、自分に対して申し訳ないのではないのでしょうか。小さな開業医でも、大きな病院歯科で活躍する女性医師でも、患者さんの喜ぶ笑顔を見られた時、最高の幸せを感じます。このジェンダレスの時代、あえて女性というエクスキューズをつける必要はもうありません。

歯科医師会や学会などで、先頭を切って活躍されている女性の先生方をみると、そのパワーに圧倒されます。家事・育児・介護など診療以外にも様々なことがある中、歯科医師として道を切り開いている女性歯科医師を誇りに思います。

少子・高齢化となかなか困難な時代ですが、一歩ずつ女性ならではの視点を持って、日々の診療に当たりたいと思うこの頃です。

## 同好会だより

### 釣り部

## 「簡単!楽しい!!アジ釣り大会」

釣り部部長 安齋 聡

### 大会レポート

2025年9月14日（日）、練馬区歯科医師会釣り部主催鯷釣り大会が、釣り宿・太田屋にて開催されました。当日は晴天に恵まれ、風速8mとやや強い風が吹く中、仕立て船での貸切にて出航し小潮の釣り日和となりました。



・釣果結果

今回の釣り方は昨年に引き続き、LT鯰1.8～2.1mのライトタックルロッド、40号のビシカゴを用いてイワシのミンチのコマセを撒きながらアタリを狙います。

結果ですが 超接戦になりまして以下のようにになりました。

順位	氏名	匹数
第一位	森田先生	25匹
第二位	浜田先生	23匹
第三位	安齋	21匹
外道賞	新野先生	黒鯛

入賞者はそれぞれ豪華景品 (?) を授与いたしました。



・参加者 (敬称略・順不同)

有福・浜田・森田・梅津・新野・和田・漆原・漆原(子)・安齋・安齋(子)

・第二部クッキングパパ？（ジジ??）大会

練馬区歯科医師会釣り部は、釣りで魚を捕らえることで、自然の厳しさや命の尊さを実感し、それを食べることで命を「いただく」という意識から、調理を推奨しております。

（当日、それぞれのご家庭や仲間で集まったの后会を楽しんでおります）

今回、釣果のあった鰹を中心に会員の食卓風景をこっそりご紹介。



新鮮な鰹はやっぱりお刺身に  
（漆原）



南蛮漬けも美味しいです！  
（漆原）



お味噌とあえて千葉名産なめろうに（森田）



肉厚な鰹フライも絶品です（森田）

2026年も釣り部活動予定です！  
釣り&Cooking部のご参加お待ちしております。

今年の練馬区歯科医師会釣り部大会は、天候にも恵まれ、親子連れや初心者の皆様にも安心してご参加いただける素晴らしい一日となりました。参加者の皆様が釣りの楽しさを体験し、釣りたての新鮮な魚をその場で味わうことで、自然の恵みと仲間との交流を深めることができました。

会員同士の親睦を目的として開催した本大会ですが、皆様の笑顔と活気に支えられ、非常に有意義な時間となりました。来年もさらに楽しく、思い出に残る企画を準備する予定ですので、ぜひ多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

最後に、本大会を支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げます。今後とも釣り部会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



カサゴの唐揚げ（森田）



鱈のカルパッチョ風（安齋）



握りだって可能です（漆原）



クロダイのお刺身とあら汁 安齋

ゴルフ部

## N.D.Cゴルフ部会

部長代行 泊 昌人

有福部長が体調を悪いので、私、泊が部長に代わり、ゴルフ部の報告させていただきます。現在、ゴルフ部は3月、5月、7月、9月、11月と年4回、ゴルフコンペを行なっています。11月のコンペは忘年コンペとして、コンペが終わったら、練馬に戻り忘年会を行なって!

一年間お酒を飲みながら語り合ってます。先生方でまだ、入部して無い先生は是非、入部して語り会いましょう。御待ちしています。





忘年コンペの打ち上げ

NDHC（競馬研究会）

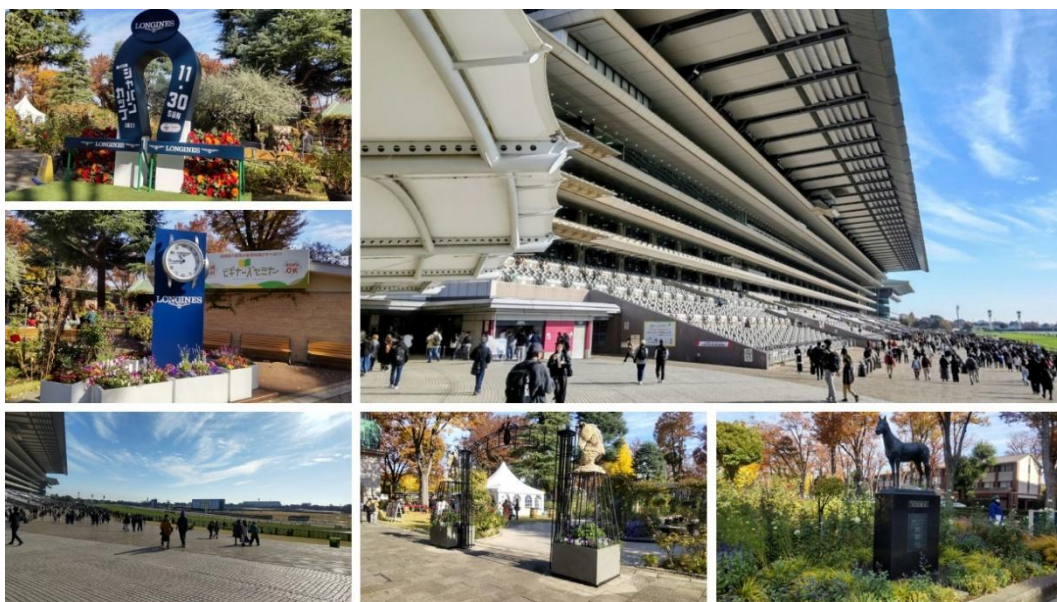
## NDHC（競馬研究会）活動報告

浅田 博之

『ザ・ロイヤルファミリー』の影響からか最近俄か？競馬ファンの増加に伴い競馬場には普段よりも数多くの人がいらして指定席に至っては有馬記念時には最高400倍の抽選になった指定席もあったようです。コアな競馬人にとってはこのブームは早く収まって欲しいと思っている今日この頃であります。

さて令和7年の競馬研究会の活動報告をさせていただきます。今年も例年通り年間6回のG1レースの検討会と称した飲み会を開催致しました。地方競馬への遠征旅行は今年度も残念ながら開催することが出来ませんでした。

令和8年は7月に3年ぶりの遠征旅行として小倉競馬場遠征を予定しているところで



練馬区歯科医師会野球部

## 2025年野球部の活動

松田 浩一

2025年野球部の活動は、今年も東京都歯科医師野球連盟が主催する大会に3月下旬から10月下旬まで参戦してきました。

今年度の大会は東京都各地区より8チームが参加し、総当たりでの試合によって順位を決める大会でしたが、今年は天気に恵まれず、何度も順延を繰り返しましたが、結局2試合が中止となり、全てのチームが全5試合行つての結果となりました。

練馬は初戦2年前に決勝トーナメントで負けている渋谷区と対戦し、6-1(結果は不戦勝)で快勝し、その後も大森・芝・日本橋に11-7、世田谷区に11-0、蒲田に9-0、江東区に6-1、と全勝し、昨年に引き続き優勝を果たし、見事2連覇を達成いたしました。(部員は全員、ドジャースと同じと喜んでいました)

今年は部長の中村雅史先生(3班)は1試合のみの参加でしたが、昨年に続きエースとして全試合に先発した佐藤大翼先生(33班)が見事なピッチングを披露し、氷見一馬先生(15班)はチームの4番として活躍し、三宅由紘先生(3班)はショートで全出場しノーエラーで守備の要となり、まだまだ若手の中山庸成先生(27班)はチャンスにヒットを量産してチームの勝利に貢献しました。



余談ですが、佐藤大翼先生、氷見一馬先生、三宅由紘先生、中村雅史先生、わたくし松田の5名は東京都代表チームとして、11月に行われた全国歯科医師野球大会にて準優勝を果たしました。

12月12日、優勝祝賀会と納会を中村部長の行きつけのバーで開催し、今年の活動は終了となりました。



現在、野球部は練馬区歯科医師会の会員だけでは部員が足りず、試合に参加できないため、野球部の無い他地区の会員の先生方に加入してもらい、どうにか試合に参戦している状況です。野球に興味のある先生方、ぜひご参加ください。

# すずしろ特集

## 自由投稿

写真・動画・絵画・俳句・等々、ジャンルは問いませんので楽しい  
趣味などございましたら、ご寄稿よろしくお願ひいたします。

お問い合わせは広報・デジタル委員会まで

Mail:[koho@nerishi.org](mailto:koho@nerishi.org)



## 閉院に際して

### 3班 沼口 隆二

昭和59年(1984)10月江古田の駅前で開業した。口腔外科教室を退局し、開業の勉強は何一つしていなかった。病棟の経験が主だったので、補綴などの経験は薄かった。あえて言えば医局勤務時代の出張アルバイトの経験しかない。今考えるともっと開業術を勉強してから開業するべきだったかもしれない。開業してからいろいろな所で研鑽を積んできたつもりだったが、結局は金稼ぎのノウハウは全くなく過ぎてしまった。

仕事内容に大きな変化を与えてくれたのはスウェーデン イエテボリ大学の歯周病のヤン・リンデ教授に会えたことだ。今まで私が勉強していた歯周病学でないものに出会った。その後予防歯科の第一人者のベル・アクセルソン教授に会えたことにより、私の歯医者人生がスタートしたように思える。

33年前中学校の学校歯科医として嘱託医になった。私の考えている学校での予防歯科ができなかったので、悶々とした学校歯科医を過ごしていた。たまたま今の小学校学校医の空きができたので、練学歯の会長先生に懇願して、小学校の嘱託医に代えさせてもらった。当所から児童の記録として写真を撮るようにしていた。今では考えられないが、先生方に反対された。理由は時間がかかりすぎるとのことだったが、今では普通に健診している時間とさほど変わらないことが実証された。これもひとえに先生方の協力なしでは成し得ないことだった。ブランク付き放題の口の中を見ていて、なぜその状態になっているのかを考え、是非とも全学年に講話をしたいと申し出て、私一人ではできないので、外部の歯科衛生士の協力の下、今に至っている。

当院の副院長が”カンボジアで咬める歯を育てよう”をスローガンにNPOカムカムクメールという団体を立ち上げた。内戦で苦しめられたクメール人の口の中に日本での戦後の1960年ごろのそれに会えることになる。日本で50年かかった健口に対しての啓蒙がもっと早くできるのではないかと単純に感じた。

カンボジアでの活動では治療することができないので、首都プノンペンを含めカンボジア全土で、健康教育を中心に活動を行った。結果的に私の歯医者人生を変えることになった。学校歯科医として、開業医として、予防歯科にテコ入れすることができた。だから、金儲ができなかったのかもしれない。

2024年2月に腓癌が判明し治療を開始した。翌25年7月に肝臓転移がわかり、41年続けた医院を涙を吞んで閉院することにした。抗がん剤の副作用での手のしびれや集中力の欠如により決断せざるを得なかった。20-30年お付き合いしてくれた患者さんに別れを告げた。それからの断捨離はつらかった。長年連れ添った診療室と機器や備品たちとの別れ、一つ一つに思いが込められている。まだ使えるものは山ほどある。近所の先生方に声をかけて、なるべく活用してもらいたい旨を伝えた。それでも機器が残ったので、歯科医師会に譲渡先を打診した。一人の先生を除き他の先生は感じよく引き取ってくれた。感謝しかない。マイナポータルのオンラインシステムはどうしても合点がいかない。結果論だが、こんなに早く閉院するくらいなら、設備投資する必要がなかった。オンラインを拒否して仕事を続けた方がよかったかとさえ思える。合点がいかない一番はなぜネット環境をNTTにしなればいけなかったのか、ネット環境を変えたことでランニングコストは高かった。国とNTTは談合していたのではないかとさえ思える。また、オンラインはよく不具合があり、事務手続きを煩雑にした。いいことは何一つなかった。これを契機に閉院する先輩方も多かったのではないかと推察する。

余命があとどのくらいあるかわからないが、体が動く限りは楽しく過ごしたいと思う。歯科医師会でお世話になった先生方、事務局の方、保険相談所の方々、つつじ診療所でお世話になった先生、スタッフの方々、30年学校医としていろいろご教授いただいた先生方、そして当院のスタッフ、患者さん達に感謝の念を伝えたい。

40年間通して行ってきた東京ヤクルトスワローズの応援もここ2年神宮球場に行けずにいた(だからここ2年低迷してしまったかと思う)。そして大好きな赤ワイン、日本酒を筆頭に旨いアルコールは最後まで楽しく美味しく飲んでいきたいと思う。

## ホーチミンドタバタ講演旅行記第2弾



南 誠二

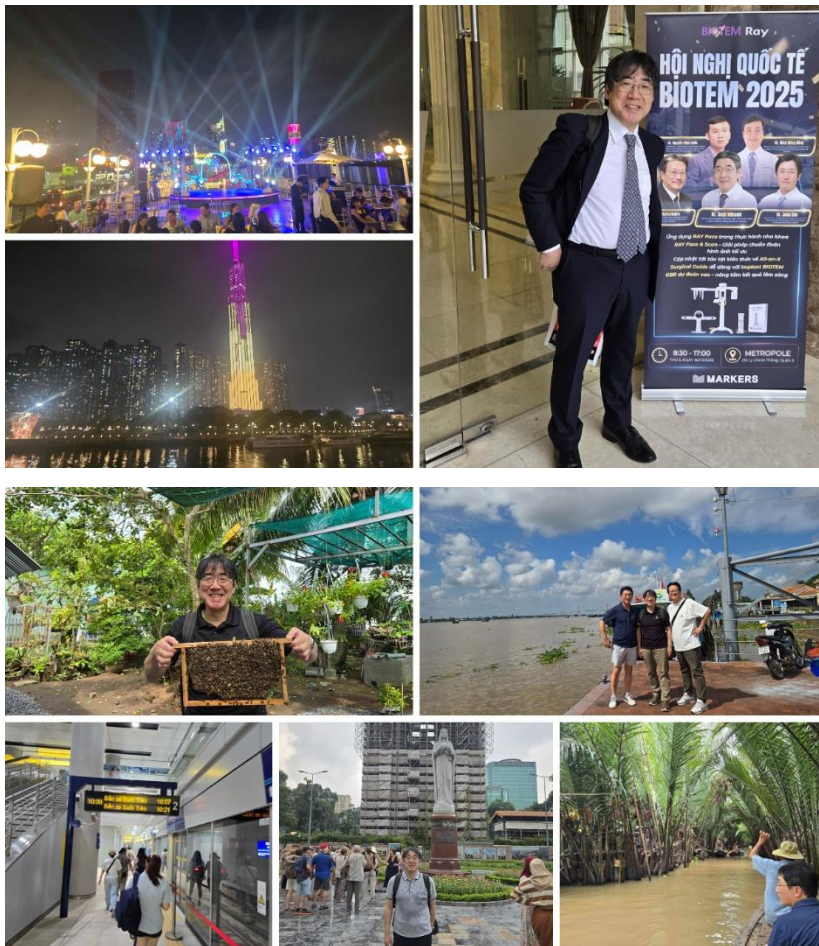
前年に引き続きベトナムホーチミン市を再訪しました。往復共、昨年と同じ時間のJAL機でしたが、24時間長く3泊5日の旅でした。10月29日（水）の夕方の便で出発し、午後10時半頃空港に到着しました。昨年は入国時に長い行列で2時間近くかかってしまいましたが、タンソンニャット空港にはVIPファストトラックサービスというのが有ることを知り、前日までにインターネットで手続きして今回は並ばず15分くらいで入国できました（値段は15ドル2000円ちょっと）。

宿泊は昨年と同じニューワールドサイゴンホテルで、目の前に広い公園が有り、有名なベンタイン市場にも近い五つ星ホテルです。翌朝8時に講演会場のメトロポールホテルに行きました。昨年の講演会は夜でしたが、今回は翌日朝8時半から午後4時半でした。午前中はベトナムと韓国の先生、午後からは私ともう一人日本から参加した町田市民病院の小笠原先生が講演しました。講演後は、現地法人主催の懇親会に参加しました。サイゴン川のナイトクルーズで約2時間、バンド演奏を聴きながらおいしいお酒と料理を素晴らしい夜景を見ながらの素敵な時間でした。两岸の高層ビルやマンション、さらには橋の電飾等が、まばゆくてキラキラしていて、ホーチミン市のエネルギーを感じました。

3日目はインプラントメーカーが企画してくれたオプションツアーで、朝からメコンデルタへ向かいました。私と小笠原先生と韓国のキム先生がガイドと一緒にタクシーで片道2時間、起点となるミトー市の船着き場に到着しました。そこからボートで三角州の島に向かいます。メコン川は白く濁っていますが海のように広がったです。

最初の島に着き、ハチミツ農園見学後馬車に乗った後、メインイベントである手漕ぎボートでのジャングルクルーズを体験しました。そして、ココナッツ工場を見学した後、ボートで次の島に渡り、名物のエレファントイヤーフッシュ付き（結構美味でした）のランチを食べ、帰りは有名な永長寺を見学しホーチミンへ戻りました。

4日目は、小笠原先生と共に市内観光やお土産を買って過ごしました。昨年訪問した翌日に開業したホーチミン初の地下鉄にも乗りました。昨年は乾季でしたが、今回はまだ雨季で、湿度が高く何度もスコールにし遭遇し、汗だくになり、現地でポロシャツを買い足しました。その後深夜便で帰路に向かい、早朝羽田空港に到着しました。2度行ってホーチミン市に慣れたので、ぜひ今度はプライベートで行ってみたいと思っています。



## 佐藤 貞彦先生を偲ぶ

草柳 英二

先生、とうとうこの日が参りましたね、お別れです！

2025年10月に先生から突然図書カードが送られて来ました。何かと不思議なしかも嫌な予感がしました。お返しに、先生のお好きな鮭等を送りました。先生は、つねづね故郷新潟の村上の鮭が一番美味しいと口癖にしておりましたので。まもなく先生から電話を頂きました、「おい、あんな高級な魚、食べれねーよ、わりなー」と、この会話が最後となりました、もう一度逢いたかったが本音です、とても残念至極。会議等の後は、先生と行きつけの割烹「鳥ふじ」によく行きました、先生はいつも鰯の塩焼きを注文、私も鰯の塩焼き（秋刀魚の塩焼きが食べたいのに）をつまみに一献。その後近くのスナック「ステーション」で雑談、私は関町北まで電車なのに、先生はタクシーで大泉学園町に帰宅、いつものルーティンでした。余談ですが、先生の要望で、銀座の資生堂高級フレンチレストラン「ロジェ」に、ワインとフランス料理を堪能した食事会もいい思い出です。

平成11年練馬区歯科医師会佐藤貞彦執行が発足、先生の指命で会計担当理事を拝命、尚且つ過去10年間の練馬区歯科医師会の会計予算書・決算書を5月の連休前に渡され会計全般を把握、先生の指導下で予算書・決算書等の会務運営に携わる事となりました。先生から、再度平成26年秋頃から練馬区学校歯科医会の会長職を受けるとの命令が、翌年4月から練馬区学校歯科医会の会長職を拝命しました。先生の強い指導力は、私の生活環境の大きな糧となり、歯科医師の道が大きな変遷となりました。先生の洞察力及び指導者としての才知は、かなり深く計り知れず、今でも尊敬しております。平成28年には「瑞宝双光章」を受賞、とても喜ばれ、池袋のメトロポリタンホテルにて盛大な祝賀会を開催されました。先生は、お酒をこよなく愛されましたが、病魔に侵され3回もの手術を経験、その後も再発しましたが、4回目のオペは、拒否なされたとのことでした。公務は、日本学校歯科医会及び練馬区歯科医師会・練馬区学校歯科医会等の多くの大役を見事に成し遂げられ、実にあっぱれな佐藤貞彦先生です。多くの楽しい痛快な思い出が走馬灯のように思い出されず、心底から「先生、いろいろと楽しかったですねー」と叫びます。本当に長い間ご指導頂きありがとうございます。心から感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

佐藤貞彦先生は素晴らしい指導者であり、とても深い思いやりの心を持つ父親のような存在で、頼りになるまさに兄のような大先輩でした。

佐藤貞彦先生 2026年1月7日他界されました。



## 滝川先生を偲ぶ

手塚 通夫

滝川先生の訃報に接し、最近お会いしていなかったので、常々如何お過ごしかなと思っておりましたが、やはりその時が来てしまったのかとの思いでした。10数年位前、池袋行きの電車内でお会いした時、先生は80歳位でも全く健康で、「やはり子供の頃、健康優良児として表彰されたほど丈夫な体に恵まれた人は違うなあ」と言う印象をもちました。

趣味としてスキーが大好きで、高速道路が無かった時代、愛車ブルーバードで冬は毎週のように新潟のスキー場に通われ、暖かい季節にはゴルフにとスポーツ万能、そんな堅固な体の持ち主の先生も94歳、ついに逝かれてしまったのかと寂しく思います。

人に対して思いやり深く、学年で17も下の後輩の私に、優しく接して下さったことが私の一番の思い出です。ゴルフに誘って下さり、車で迎えに来て頂きました。当時若かった私は朝が弱く待たせてしまった時も嫌な顔一つ見せず、優しくした事を思い出します。

ご冥福をお祈りいたします。

あたたかく 優しい人の 逝くを知り  
われもいずれと 思へど悲し



## 道トキ子先生を偲ぶ

手塚 通夫

道トキ子先生のご逝去は東京医科歯科大学同窓会練馬支部の新年会で初めて知りました。ご逝去が12月23日であることは支部の連絡メールで知ることができたのですが、時代遅れの私は日常的にパソコンを開く習慣が無いのでこのようになってしまいました。本会からファックスの連絡があれば分かったのですが、道先生からの賀状が届かなかったのでどうされているかと案じておりました。

先生とは学年で11違い、あまり会合に出いらっしゃらなかったもので、会話をした覚えはほとんど無く、遠くから拝見していつも微笑みを絶やさな方とお見受けしていました。御夫君は東京医科歯科大学（現在は東京科学大学）の同級生で、昭和大学の口腔外科の教授も務められた方で、トキ子先生と同じようににこやかな方でした。トキ子先生は桜台で開業して御家庭と仕事を両立され、また御夫君は大学において研究や診療を続け、仕事場でもおしどり夫婦の典型と想像されました。ご冥福をお祈り致します。 合掌



## 佐藤 貞彦 先生

### 入会日

1966年4月6日

### 略 歴

### 出身校

東京歯科大学

### 役職

学校名 大泉北小

大泉学園保育園

就任期間 平成1年4月1日～平成22年3月31日

昭和46年4月～昭和50年3月：保険整備委員

昭和48年4月～昭和50年3月：会報委員

昭和50年4月～昭和52年3月：会計理事

昭和50年4月～昭和52年3月：本会福祉共済部委員

昭和52年4月～昭和54年3月：財産管理委員

昭和52年4月～昭和62年3月：会報委員

昭和54年4月～昭和56年3月：保険整備委員

昭和54年4月～昭和56年3月：都歯連盟練馬支部幹事（会計）

昭和56年4月～昭和58年3月：都歯連盟練馬支部副支部長

昭和58年4月～昭和62年3月：都歯連盟練馬支部幹事長

昭和60年4月～昭和62年3月：都歯連盟広報部委員

昭和62年4月～平成3年3月：都歯連盟広報部副委員長

昭和62年4月～平成3年3月：専務理事（平成1年4月～会報理事も）

昭和62年4月～平成3年3月：本会福祉共済部理事

昭和62年4月～平成3年3月：練馬区国民健康保険運営協議会委員

平成3年4月～平成7年3月：副会長（税・医療管理・公衆衛生・

厚生文化・福祉共済・会報（平成5年4月～は地域医療も））

平成3年4月～平成7年3月：本会福祉共済部審査委員長

平成3年4月～平成7年3月：練馬区保健所運営協議会委員

平成3年4月～平成6年3月：日歯広報委員会委員（一期3年の時代）

平成6年4月～平成15年3月：日歯広報委員会委員長

平成6年4月～平成17年3月：日学歯会誌広報委員会委員長

平成7年4月～平成11年3月：監事

平成7年4月～平成9年3月：本会福祉共済部監事

平成11年4月～平成15年3月：会長  
平成11年4月～平成15年3月：本会警察協力医会会長  
平成11年4月～平成15年3月：練馬区健康推進協議会委員  
平成11年4月～平成15年3月：練馬区社会福祉事業団理事  
平成11年4月～平成13年3月：練馬区福祉公社理事  
平成11年4月～平成15年3月：日本大学医学部付属練馬光が丘病院  
運営協議会委員  
平成11年4月～平成15年3月：練馬区防災会議委員  
平成13年4月～平成15年3月：練馬区災害医療運営連絡会  
平成15年4月～平成17年3月：予算決算特別委員  
平成15年4月～平成19年3月：本会警察協力医会顧問  
平成17年4月～平成19年3月：練学歯副会長（学術）  
平成19年4月～平成25年3月：練学歯会長  
平成19年4月～平成25年3月：練馬区学校保健会副会長  
平成21年4月～平成23年3月：事業活動検討委員  
平成25年4月～平成27年3月：練学歯監事

## 滝川 実先生

略 歴



### 入会日

1957年2月19日

### 出身校

東京医科歯科大学

### 役 職

開進第二中

昭和32年4月～昭和40年3月：厚生文化委員（厚生文化部委員）

昭和36年4月～昭和40年3月：健康保険整備委員（保険整備委員）

昭和38年4月～昭和40年3月：適正配置委員

昭和42年4月～昭和46年3月：会報委員

昭和46年4月～昭和48年3月：学術委員

昭和46年4月～昭和48年3月：厚生文化委員

昭和48年4月～昭和52年3月：公衆衛生委員

平成1年4月～平成19年3月：選挙管理委員

## 山口 弘二先生

略 歴



### 入会日

1978年4月1日

### 出身校

東京歯科大学

### 役職

昭和56年4月～平成1年3月：保険整備委員

昭和58年4月～昭和60年3月：厚生文化委員

昭和60年4月～昭和62年3月：医療管理委員

小林 剛先生  
略 歴



入会日

1964年5月1日

出身校

日本歯科大学

役職

昭和46年4月？～昭和52年3月：保険整備委員

昭和52年4月～昭和54年3月：都歯連盟練馬支部幹事（会計）

## 道 トキコ先生

### 略 歴



#### 入会日

1972年11月1日

#### 出身校

東京医科歯科大学

#### 役職

平成3年4月～平成5年3月：保険整備委員

平成3年4月～平成5年3月：心障児（者）対策委員

平成5年4月～平成7年3月：図書室委員

平成11年4月～平成13年3月：保険整備委員

謹んでご冥福をお祈りいたします。



## 編集後記

---

今年も会報誌すずしろの発行ができました。これはひとえに広報委員長はじめ委員全員の努力の成果であります。是非隅々までお読みください。本年度は、会員の活動や本会の役割を区民へ周知するため、サイネージの増設も行いました。今後とも委員会活動へのご理解をお願いいたします。(T.H)

自主制作3年目となりました。AI元年と呼ばれる昨今ですが、会員の皆様から集めた文章や写真はやっぱり素敵ですね。毎年ご協力いただきましてありがとうございました。

(S.A)

昨年あたりから生成AIが凄いいろいろな文の制作や校正のみならず画像や動画まで完璧に作ってくれるようになりました。またホームページやエクセルのコードもすぐ書いてくれるので時代が変わったものだとつくづく感じています。しかしこういう昔ながらの冊子も味があって良いものかもしれません。(R.A)

今年も委員会の先生方に引っ張られながらどうにか一年を終わらせることができました。感謝しかありません。又原稿を書いてくださった先生方、お忙しい中ありがとうございました。次はAIに遊ばれないように頑張ります。(C.I)

今年もまた、安齋委員長におんぶに抱っこ状態で戦力外な状況でした。

委員会のメンバーはとても良い人ばかりで、委員会は毎回楽しくやれました。

来年はもう少し頑張りたいと思ってます。どうぞ宜しくお願いいたします。(S.S)

あっという間に今年も1年が過ぎ、先輩委員の先生方には昨年同様指導していただきました。また寄稿してくださいました先生方、ご丁寧に対応していただきありがとうございました。(A.K)

編集後記をといて話をいただいて、もう一年たったのか、早いなあと思いました。今年も何も委員らしいことをせず、助けていただくばかりで申し訳なく思っています。それでも定期的に委員会の先生方にお会いできて楽しかったです。ありがとうございました。

(H.I)

今年度からの委員会参加で、『すずしろ』が刊行されるまでには会員の先生方や委員会の多大な労力があつたことを知りました。(N.I)

編集委員

練馬区歯科医師会 広報デジタル委員会

佐久間 栄

礪田 千恵

川端 明美

乾 はな子

稲川 憲弘

委員長 安齋 聡 副委員長 浅見 律

担当理事 蓮池 敏明



---

## すずしろNo.81

発行日令和8年2月15日

発行所公益社団法人練馬区歯科医師会

東京都練馬区豊玉北6-5-13

T E L 03 (3557) 0045(代)

F A X 03 (3557) 3553

E-mail:nerimakushikaishikai@nerishi.org

<https://www.nerimaku-shikaishikai.or.jp/>

発行責任者:蓮池 敏明

印刷：印刷通販プリントバック

## 公益社団法人 練馬区歯科医師会 会員の皆さま

大切なご家族とクリニックをお守りし安心して診療できるようお願いさせていただきます。

歯科医師のリスク対策に特化して最大限メリットを活用した「団体保険」を中心にご案内しております。ぜひ、福利厚生のお役に立ててください。

### 東京都歯科医師会 団体歯科医師賠償責任保険

基本  
プラン

医師賠償責任保険

医療施設賠償責任保険

豊富な  
オプション

医療機関用団体サイバー保険

勤務医包括担保

賠償責任保険  
医療従事者

etc.



近年、医療機関を標的とした、ランサムウェアをはじめとしたサイバー攻撃による被害が増加しています。医療機関のシステムが感染すると電子システム等が利用できなくなり、診療への支障や患者の個人情報などが窃取されたりするなどの被害をもたらす可能性があります。

情報漏えい等の事故発生の場合、早期発見・早期対処が極めて重要です。保険会社の持つ緊急時のサポートサービスを活用することで、有事における負担の軽減を図ることもできます。詳細のご説明、お問い合わせがございましたら弊社までよろしく申し上げます。

この広告は、概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店までお問い合わせください。

資料請求は下記までご連絡ください

生命保険・損害保険代理店

## 日本保険マネジメント株式会社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 2-2-13 八千代ビル 4F

TEL. 0120-463-176 平日 10時～17時

FAX. 0120-463-175

Mail [aono@jimhoken.com](mailto:aono@jimhoken.com)

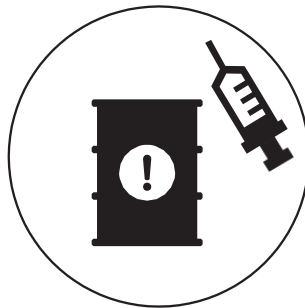
承認番号：SJ25-10222 承認日：2025/11/26

# FJ GROWING SERVICE

歯科金属を始めとする、  
医療系廃棄物の適正処理事業  
及び収集運搬事業とサービス専門業者



歯科貴金属の  
回収・買取事業



医療廃棄物の  
処理事業



歯科医院・院内清掃  
DEMIGAKI



## 0120-256-888

WEBからのお申し込みは  
24時間受け付けております。



本社・工場 埼玉県坂戸市千代田5丁目1番6号

営業所 FJ札幌／FJ千葉／FJ埼玉／FJ神奈川／FJ新潟／FJ沖縄

営業時間／午前9時～午後5時（土日祝除く）

FJグローイングサービス

検索


[www.fj-growingservice.com](http://www.fj-growingservice.com)

私たちは新たな付加価値を創造し、  
モノにもう一度「命」を吹き込む会社です。

Make things regenerate.

We create and add extra values, in order to breathe “life” into matters once again.

-  **Recycle** 貴金属分析・精錬
-  **Clean** 産業廃棄物適正処理
-  **Support** 歯科研修会場 DHA

 相田化学工業株式会社

歯科営業部

〒183-0026 東京都府中市南町 6-31-2

TEL : 042-366-1201 FAX : 042-366-3101

札幌・仙台・新潟・郡山・埼玉・千葉・神奈川・東京

甲府・長野・静岡・名古屋・大阪・広島・香川・福岡・鹿児島



実績と信頼  
折り紙付き。



アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、  
独自技術により皆様から絶大な信頼をいただいております。

業界No.1のシェアを実現しています。

また、お預かりした金属の分析から売却までを

Web上で安全に運用できる

「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。

歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。



ASAHIPRETEC

アサヒメタルアカウントシステム

SDGs 取組実施

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サビアタワー 11F

TEL: 03-6270-1820 FAX: 03-6270-1825 URL: <https://www.asahipretec.com/>

関東 札幌 仙台 新潟 郡山 埼玉 千葉 神奈川 東京 甲府 長野 静岡 名古屋 大阪 広島 香川 福岡 鹿児島



旬を美味しく食べて  
活魚・寿司・やきとり・天ぷら・ご会合各種弁当



40名様までのご宴会を承ります。  
貸切、営業時間外・日曜日のご宴会などお気軽にお問い合わせ下さい。

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 5-21-3  
TEL 03-3994-0203, FAX 03-3994-8761



CHIYODA

独立・開業を思ったら  
開業資金の準備、開業時の節税対策等  
医療法人、会社、一般・公益法人 設立・決算・申告  
個人確定申告、相続・贈与申告の節税対策等  
相談料はいただきませんので  
お気軽にご相談ください。

税理士法人千代田タックスパートナーズ

〒101-0047 千代田区内神田1丁目14番5号 NK内神田ビル3階  
TEL 03-3233-1988 FAX 03-3233-3880



<https://chiyoda-tax.net/>

KONAMI

摂食・嚥下訓練器具のみこむトレーニング

# ラビリントレーナー®

「いつまでもおいしく口から食べる幸せ」

食事にむせる、食物を飲み込みにくい、食べこぼす、ということはありませんか？そのような方は嚥下（えんげ）機能が衰えはじめています。いつまでもおいしく食事ができるようにラビリントレーナーで口腔トレーニングを行いましょう。



## ラビリントレーナー

摂食・嚥下訓練器具

規格：材質：シリコンゴム／重量：約36g  
耐熱温度：200℃（オートクレープ滅菌可）  
サイズ：長さ149mm×幅54mm×厚さ32mm  
カラー：口腔色

つるし穴  
フックなどにつるして保管する時に  
ご使用ください。

グリップ部  
指でにぎります。

ホルダー部  
親指を差し込んで、  
支えるために使います。

リング部  
（舌のトレーニングに  
使用します）舌を鍛える  
ための部分、舌の上  
に、ふせるようにして使  
います。

ラビアル部  
（舌のトレーニングに使用します）  
舌を鍛えるための部分、歯と舌の  
間にはさむようにして使います。



置いたときでも口に入れる部分が接地し  
ないので衛生的

ご家庭で使いやすいスタンド付！



## ドルフィン義歯ブラシ(スタンド付)

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製  
毛…ナイロン  
硬さ…かため  
耐熱温度…80℃  
スタンド…3色（イエロー、レッド、ブルー）  
材質…シリコンゴム  
包装：6本入（ASS・単色）

医院内でのご使用に最適！！



大きい植毛部分は義歯床や人工歯  
全体を磨くのに適しています。小さ  
い植毛部分は毛が固くクラス部分  
や義歯の細かい溝などを磨くの  
に適しています。

## ドルフィン義歯ブラシ

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製  
毛…ナイロン  
硬さ…かため  
耐熱温度…80℃  
包装：6本入

コンパクトヘッドタイプ  
プラーク除去に優れたテーパー加工。

## ドルフィン歯ブラシ

歯ブラシ



オリジナル歯ブラシとして名入れする  
事が可能です。

規格：ソフト（S）  
ミディアム（M）  
カラー：ソフト（S）  
パステルブルー  
パステルイエロー  
パステルグリーン  
パステルピンク  
ミディアム（M）  
ブルー・イエロー  
グリーン・ピンク

包装：100本入（ASS）  
25本入（単色）

極細毛とラウンド毛の二段植毛で、歯肉の  
奥まで優しくケアできます。

## ドルフィン歯ブラシ DUO

歯ブラシ



カラー：ブルー イエロー グリーン ピンク  
包装：12本入 ASS・単色

総合歯科医療商社

株式会社 **コサカ**

〒176-0013東京都練馬区豊玉中2-18-14

TEL:03-3557-4111 FAX:03-3557-4116

https://www.kosaka.co.jp E-mail:dental@kosaka.co.jp

TheJournalof



theNerimaDentalAssociation

すずしろ No.81 令和8年2月15日発行  
発行所練馬区歯科医師会東京都練馬区豊玉北6-5-13